ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
戦車道のよこみち2

ガールズ&パンツァー
戦車道のよこみち 2

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER

ガールズ&パンツァー 戦車道のよこみち 2

日頃は凛として戦車道に励む乙女たちは、戦車を降りた時にいったいどんな姿を見せるのか――そんな戦車道の“よこみち”を描いた珠玉のエピソードを1冊にまとめました。
無限軌道杯の合間に紡がれる、乙女たちの心温まる日常をお楽しみください。

CONTENTS

大洗女子学園の歩んだ戦車道

廃校寸前の無名校が、戦車道を通じてさまざまな奇跡を起こしていく『ガルパン』の物語。主人公の西住みほと大洗女子学園の仲間たちが歩んだこれまでの道のりを、TV、劇場版、最終章の３シリーズの順に振り返りましょう。

TVシリーズ <2012-13>

『ガルパン』の物語は全12話のTVシリーズから始まりました。みほと大洗女子学園戦車道チームとの出会い、そして学校存続をかけた全国大会での激戦が描かれます。

1 弱小校がいきなり全国大会にエントリー

戦車道から逃れるため、戦車道のない大洗女子学園に転入してきた西住みほ。ところが生徒会の強引な勧誘により、友人たちとともに戦車道の全国大会に出場することに……。

POINT 大洗は“寄せ集め”チーム！

メンバーは初心者、戦車は校内の廃棄品のリサイクルと、乏しい戦力でスタート。勝てる見込みはほぼゼロ！

2 迫り来る廃校の危機 負けられない戦いが続く

貧弱な戦力ながら、みほの采配とメンバーの成長で強敵たちと渡り合う大洗女子学園。大会に負けたら学園の廃校が決まってしまうことも判明し、仲間たちに緊張が走ります。

POINT みほのトラウマ

黒森峰女学園の生徒だったみほには、ある事件をきっかけに転校した過去が。大会でかつての仲間たちと再会し……。

3 みんなの想いをひとつに 勝ち取ったフラッグ

下馬評を覆し決勝まで進んだ大洗女子学園は、みほの姉・西住まほ率いる黒森峰女学園と激突。廃校を阻止し、自分たちの戦車道を貫くため奮闘するチームが奇跡を起こします。

POINT 西住家の雪解け近し……？

みほは姉のまほや母のしほとは絶縁状態。しかし自分の戦車道で結果を出した彼女を、姉や母も認めはじめます。

「ガルパン」世界のキーワード 1 戦車道 せんしゃどう

実在の戦車を使ってチームに分かれて模擬戦闘をする競技。敵チームの戦車をすべて撃破する殲滅戦と、敵チームが指定するフラッグ車の撃破が目的のフラッグ戦があります。

◀使用戦車は特殊なカーボンで補強されているので、撃破されても安全です。

▶この世界では書道や茶道と並ぶ、由緒正しい"乙女のたしなみ"です。

「ガルパン」世界のキーワード 2 学園艦 がくえんかん

学園と都市機能を備えた巨大な艦船。艦上には山や川まであって海上であるのを忘れるほどの規模。独立心を育む質の高い教育を掲げ世界各国で多数の艦が建造されてきました。

◀比較的規模の小さい大洗女子学園の学園艦ですら、この特大スケール！

▶時々本土に寄港したり、補給船を使ったりして物資を確保しています。

劇場版 <2015>

全国大会のその後の物語。再浮上した大洗女子学園の廃校問題をめぐり戦車道の歴史に残る戦いが始まります。

1 危機いまだ去らず 大洗の命運尽きる……？

全国大会優勝の実績を作ったものの認められず、結局大洗女子学園は廃校が決定してしまいます。戦車道チームも解散となり絶望に沈む仲間たち。希望は潰えたのでしょうか？

POINT 会長たちの尽力

生徒会の杏会長を中心に、多くの人々が廃校阻止に動きます。ふだんはグータラな杏会長の面目躍如ですね。

2 無理を押し通すため 最強の敵に挑む

ようやく取り付けた廃校阻止の条件、それは大洗女子学園が大学選抜チームと試合をして勝つこと。天才少女・愛里寿率いる大学生たちに勝てる見込みはなさそうだけど……？

POINT 昨日の敵は今日の友！

不遇な大洗を見かねて、かつて全国大会で戦ったライバルたちも手を差し伸べます。戦車道が繋ぐ絆は美しい！

最終章 <2017～>

劇場版の物語に続く形で、全6話の最終章が展開中。

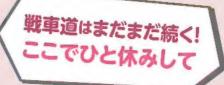
先輩を助けようと ふたたびチーム一丸に

成績不振で大学進学が難しい河嶋桃の窮状を知ったみほたち。戦車道の実績を作ればAO入試のサポートになると考え、桃を"無限軌道杯"で優勝させようとみんなで画策します。

POINT 人望のあった桃先輩

チーム内はもちろん、船底の荒くれ者たちにも慕われていたことが発覚した桃。口うるさいけれどいい先輩です。

NEXT TO YOKOMICHI

戦車道全国高校生

みほ「(ぱたぱた、ぱたぱた) ふぅ、そんなに汚れてないように見えるけど、こうしてお掃除するとけっこうホコリが出るね」

華「すみませんみほさん。生徒会室のお掃除、手伝っていただいて」

みほ「気にしないで。お掃除するのけっこう好きだから」

沙織「そうなの?」

みほ「うん。だってお掃除って、大変だけどやった分の成果がすぐに目に見えるから、すごくやりがいがあるよ」

沙織「あー、なるほど……テスト勉強とか、やってる時大変なのに、いい点が取れるとは限らないもんね。うんうん、わかる」

華「沙織さん、深々と納得しているのに、なぜお掃除しないんですか?」

沙織「ごめんごめん、ちょっと休憩。だってこの椅子、やけに座り心地がいいんだよ」

華「生徒会長の椅子ですからね。わたくしも会長に就任してその椅子に座るようになりましたけど、たしかに身体が包み込まれるような、素晴らしい座り心地です」

優花里「五十鈴会長どの、この資料は、あっちの本棚でいいですか?」

華「はい、お願いします優花里さん。ですがその『五十鈴会長どの』というのは……」

優花里「ダメですか?」

華「今まで通りでよろしいのではないかと」

優花里「わかりました、五十鈴どの!」

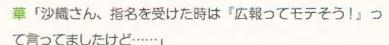
みほ「優花里さん、それ、なんの資料なの?」

優花里「歴代生徒会の活動記録です」

沙織「ふむ。わたしたちのこれからの活動も、来年の今頃にはその資料に加えられるってわけね」

優花里「それにしても、びっくりしましたよね〜。わたしたち3人が生徒会の役員になっちゃうなんて」

沙織「しかも生徒会の指名って……あんなのアリなの?」

華「沙織さん、指名を受けた時は『広報ってモテそう!』って言ってましたけど……」

沙織「女子校の広報って女子しかいないんだもん! ……じゃなくて! せっかく選挙やったのに指名って選挙の意味なくない!?」

みほ「(汗) あはは。確かにそうかも」

優花里「戦車道もそうでしたけど、なかなか力業が得意な方々でしたから」

華「でも力業で戦車道を始めてくれたことがこの学園を救ってくれたわけですし……」

沙織「それもそうね。私も戦車道のおかげで、友達もいっぱい増えたもんね」

みほ「うん。わたしは、戦車道をやりたくなくてこの学校に転校してきたから、最初はちょっと……って思ってたけど……大洗のみんなに会えて本当によかった」

沙織「強引な生徒会に感謝、かー。なんか素直には言いづらいよね」

華「私たちみんなのためにしてくれたことですから……やっぱり感謝したいです」

優花里「ですね。あ、誰ですか記念すべき優勝旗を床に置いたのは……ってえええっ!? 今、優勝旗が動いたような……?」

みほ「ええっ!?」

華「たしかに動いてます……もこもこと……」

沙織「なにそれこわい!」

麻子「んんん……むにゃ」

優花里「優勝旗の中から、冷泉どのが!」

沙織「麻子、あんた何してるの?」

麻子「んんん……優勝旗を虫干ししようと思って、取り出したんだが……この厚み、この肌触り……に……眠気を誘われてしまい……むにゃむにゃ」

沙織「ちょっと麻子!」

華「また寝てしまわれましたね」

優花里「優勝旗を掛け布団にして眠ると、やっぱり優勝する夢が見られるんでしょうか。心なしか冷泉どのの寝顔が、満足げに見えます」

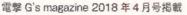
みほ「(汗) あはは……」

電撃 G's magazine 2018 年 4 月号掲載

原画:伊藤岳史　仕上:原田幸子　特効:古市裕一

美術:岡村勝介(スタジオアカンサス)　監修:杉本功

CHARACTER FILE おおあらいじょしがくえん

大洗女子学園

仲間たちの絆の力で何度も廃校の危機を乗り越えてきた元・弱小校。動物の名前を冠した９つのチームで戦車道に挑みます。

あんこうチーム①

西住みほ

CV 渕上 舞

Ⅳ号戦車H型（D型改）の車長にして、大洗女子学園戦車道チームの隊長。ほんわかとした優しい性格だけど、天才的な戦術で何度もチームの危機を救ってきました。

秋山優花里

CV 中上育実

あんこうチームの装填手。ミリタリーマニアで、戦車道の名門出身のみほを尊敬しています。豊富な知識と思いきりのよさを生かし、相手チームの偵察にも大活躍します。

EPISODE 02 甘くて苦い英仏外交

ダージリン「今日はお招きいただき感謝しますわ」
マリー「もく……もく……（ケーキを食べている）」
ダージリン「紅茶とコーヒーの違いはあれど、こうして午後にお茶をたしなむ習慣は同じ……わたくしたち、いい友人になれそうね」
マリー「もく……もく……」
安藤「隊長、ケーキのおかわりを持ってきた」
マリー「もく……もく……こくり（うなずく）」
安藤「お客人も、よろしければ」
ダージリン「ありがとう。とても豪華なケーキね」
安藤「ケーキにこれほど高価な材料を使う意味を私は理解できない。だが客人をもてなす気持ちはあるから、遠慮せず食べてほしい」
ダージリン「感謝致しますわ。お礼にこちらのキュウリのサンドイッチを召し上がれ」
安藤「感謝する。もぐもぐ（食べる）」
ダージリン「いかが？」
安藤「悪くない、庶民の味という感じがするな」
ダージリン「あら。キュウリのサンドイッチは高級な食べ物と言われているのだけど……」
マリー「もく……もく……キュウリより、ケーキを挟んだほうが高級じゃないかしら？」
安藤「ケーキはケーキで食べたほうがうまいと思うけどな」
ダージリン「ユニークな発想ね。じゃあ、今度ジャファケーキを挟んでみようかしら」
オレンジペコ「ビスケットをパンで挟んでも、あまりおいしくならないと思いますが……」
ダージリン「『私が若かりし頃、10のことを試しても9つがうまくいかなかった。そこで10倍努力した』……」
オレンジペコ「バーナード・ショーですね」
ダージリン「ええ。試してみる事こそ大切な事なのよ」
オレンジペコ「ところでダージリン様、涼しい顔で飲まれてますけど、このコーヒー苦くないですか？」
安藤「口に合わなかったか？」
オレンジペコ「ええ、ちょっ私には強すぎるようです」
安藤「すまない、エスプレッソは早すぎたか。ミルクでいいか？カフェ・オ・レにすれば小学生でも飲めるだろう」
オレンジペコ「私、高校生なんですけど……」
安藤「そうなのか？　小さくてかわいいからてっきり小学生かと」
オレンジペコ「はぁ……お礼を言えばいいのか、それともツッコんだほうがいいのでしょうか、ダージリン様」
ダージリン「あなた、なかなかジョークがお上手ね。聖グロリアーナでもやっていけるレベルだわ」
安藤「ジョーク？　いや、特に冗談を言ったつもりはないんだが」
マリー「もく……もく……エスプレッソが苦いなら、ケーキを食べればいいじゃない」
安藤「クリームとエスプレッソは鉄板の組み合わせだ。苦さも抑えられるだろう」
オレンジペコ「こく……（飲む）やっぱり苦いです」
安藤「ダメだったか」
オレンジペコ「こんなに苦いのに顔色ひとつ変えず飲むなんて、ダージリン様はたしなまれていたんですか？」
ダージリン「そんなことはなくてよ」
オレンジペコ「え？」
ダージリン「だって私は紅茶をいただいていますもの」
オレンジペコ「ええっ!?　ずるいですよ、ダージリン様」
マリー「もく……もく……エスプレッソでも紅茶でも、とにかくケーキがおいしければそれでいいのよ」
安藤「隊長は食べ過ぎだ」
ダージリン「そういうことね」
オレンジペコ「マリーさん、そんなに食べたら、夕食がおなかに入らなくなりませんか？」
マリー「もく……もく……どうして夕食のためにケーキを我慢しなければならないの？」

電撃G's magazine 2018年5月号掲載
原画：王國年・北條真純　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：岡村勝介（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

大洗女子学園 あんこうチーム②

武部沙織（たけべさおり）

CV 茅野愛衣

通信手。大洗女子学園の新生徒会では広報担当。恋愛に夢見がちな面はありますが、世話焼きでコミュニケーション能力が高く下級生に慕われています。

五十鈴華（いすずはな）

CV 尾崎真実

砲手。大洗女子学園の新生徒会長にも就任。華道の家元のお嬢様らしいおっとりした性格ですが、その芯の強さと集中力は並外れています。

冷泉麻子（れいぜいまこ）

CV 井口裕香

成績優秀ですが低血圧で寝てばかりいるローテンション少女。その天才性で戦車の操縦法をすぐに習得し、みほの作戦を忠実に遂行する操縦手です。

EPISODE 03 船底の愉快なヤツラ

お銀「あんたたち、あたしたちのことを知りたくてこの船底までわざわざ来てくれたんだね？」
梓「はい……サメさんチームは新しい仲間だから、仲良くしようと思って……」
あゆみ「秋山先輩から聞いてたけど、来る途中恐かったよね」
お銀「まあまあ、アレで話してみれば気のいい奴ばかりさ。今度話しかけてやっておくれよ」
梓「と言われても……」
あゆみ「うう……」
ムラカミ「ところでさ、ここ居心地いいだろ？」
フリント「ここは『BARどん底』、あたいらのたまり場さ」
梓「正直言って、ちょっと落ち着かないです……」
あゆみ「ちょっとその、雰囲気が大人すぎるっていうか、なんていうか……」
お銀「海賊の酒場っていえばこういうものだろう？　酒場に入ったことは、ないけどね。それよりお互い桃さんのために力を尽くすもの同士、仲良くやろうじゃないか」
ムラカミ「そうと決まれば乾杯だな。なに飲む？」
梓「えっと……」
フリント「おっと、カトラスがいないんだよなー。すまないがあんたら、ミルクでいいか？」
あゆみ「あ、はい……それでいいです……」
梓「いただきます……」
お銀「わたしたちは、こいつを飲らせてもらうよ」
フリント「どん底名物、ノンアルコールラム酒ハバネロクラブ」
ムラカミ「子供には飲ませられないシロモノだけど……あんたたちも試してみるか？」
梓「大丈夫です!!」
あゆみ「私たち子供だから。大人になったらぜひお願いします！」
お銀「とにかく飲もう。乾杯！」
フリント・ムラカミ「乾杯！」
梓・あゆみ「乾杯……」
お銀「（飲む）んっ……はぁーっ。五臓六腑に染みわたる！」
ムラカミ「かーっ！　辛い!!」
フリント「ふぅ……唄い疲れた喉に染みるねぇ」
お銀「さあどんどん行こう。飲んで飲んで飲みまくるよ。まるでうわばみのように。うわばみがどんな生き物なのか、見たことないけどね」
フリント「ほら、あんたたちも遠慮しないで飲みなよ」
梓「はい、飲んでます」
あゆみ「ミルクおいしいです」
お銀「なかなかいい飲みっぷりだね～、これは負けてられないね！」
ムラカミ「そんなこと言ってるけどお銀の姐さん、まだ5杯目ですよね」
フリント「ムラカミは6杯？　あたいは既に7杯目だけど」
お銀「おっ、あたしとやるってのかい？」
ムラカミ「サルガッソーの二つ名はダテじゃねーすよ」
フリント「注いで飲んで、飲んで注いで～♪」
あゆみ「（ひそひそ）なんかこの人たち、酔っ払ってない？」
梓「ノンアルコールって言ってなかった？」
ムラカミ「カトラスー、おつまみまだー？」
フリント「カトラスはいないよ」
ムラカミ「んじゃラムー」
フリント「ラムは当直」
ムラカミ「じゃあフリント、おつまみ作って～」
フリント「イヤなこった」
ムラカミ「なんだと～！」
フリント「ん？　やるかい？」
ムラカミ「よーし勝負だ！」
梓「ええ!?　どっちがおつまみ作るかで、ケンカが始まっちゃうの!?」
あゆみ「コレどうするの!?」
お銀「待ちな!!」
フリント・ムラカミ「えっ？」
お銀「あんたたちが勝負してもいつものことでつまらない」
ムラカミ「そりゃ」
フリント「そうですけど……」
お銀「そこでだ、代わりにこの2人に勝負してもらおうじゃないか」
梓・あゆみ「え？」
ムラカミ「なるほど」
フリント「さすが姐さん」
梓・あゆみ「えええええ～!!」

電撃G's magazine 2018年6月号掲載
原画：逵村六・王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：室薗勇輝（シフトアール）　監修：杉本功

大洗女子学園 カメさんチーム

角谷(かどたに) 杏(あんず)

CV 福圓美里

カメさんチームの車長。大洗女子学園の前生徒会長で、廃校を防ぐためみほをチームに引き込んだ張本人です。いい加減な性格に見えて、学園のことを大事に想っています。

小山(こやま) 柚子(ゆず)

CV 高橋美佳子

ぐうたらな杏に代わり生徒会を切り盛りしていた前副会長。ヘッツァー（38(t)改）を巧みに操る操縦手です。

河嶋(かわしま) 桃

CV 植田佳奈

装填手兼砲手。上から目線でデキる子のように振る舞いますが、メンタルが弱くすぐパニックになっちゃいます。

EPISODE 04 ローリング・サンダース！

ケイ「ねえミホ、少し休んだら？」

みほ「いえ、大丈夫です」

ケイ「えー、せっかくミホと遊ぼうと思って招待したのに、そのミホがウエイトレスしてたら遊べないじゃない」

みほ「すみません……でも、わたしローラースケートって初めてですけど、これとても楽しいです！」

アリサ「最初はよくコケてたのに……」

みほ「はい！　アリサさん、教えてくれてありがとうございました」

ケイ「アハハ！　あっという間にアリサより上手くなっちゃったもんね」

アリサ「ほんわかしてるかあわあわしてるかで、こういうの向いてなさそうなのに……」

ケイ「ミホは戦車道のスタイルもそんな感じじゃない？　普段はソフトなイメージだけど、試合になるとマーベラス！」

みほ「そんなことないと思いますけど……あ！　でも、このローラースケートって、走っている戦車の上に立つのに似てるなーって思ったらコツがつかめました」

アリサ「走っている戦車の上に立つって……あなた普段どんな練習してるのよ!?」

ケイ「アハハ！　さすが西住流、グレートね！　そろそろ料理もみんなに行き渡ったみたいだし、休憩して一緒に食べよ」

みほ「はい！」

アリサ「遠慮しないでどんどん食べていいのよ。料理はまだまだたくさん出てくるから」

ケイ「そうそう。フードもドリンクもめいっぱい！　ミホもたくさん食べてってね！」

みほ「皆さんいつもこんなに食べてるんですか？」

ケイ「んー、だいたいこんな感じかな」

みほ「すごい……」

ケイ「たくさん食べてたくさん動く、これがサンダースのスタイルよ！」

アリサ「(小声) 食事が減ってもいいから少し練習を減らしてほしいものよね……」

ケイ「アリサ、なにか言った？」

アリサ「い、いえ！　なんでもありません！」

みほ「たくさん食べてたくさん動く……わたし、頑張ります！」

ケイ「オッケー。でも無理しないで楽しんでね！」

みほ「はい！」

ケイ「ところでアリサ、ナオミは？」

アリサ「プールサイドの方で見ましたけど」

みほ「あ、華さんとナオミさん……なに話してるんだろう？」

ケイ「2人とも砲手だし、きっと砲撃の話で盛り上がってるんじゃない？　ミホも行ってみれば？」

みほ「そうですね」

華「お花でもそうですけれども、収めるべきところに収める。慎重に……そして大胆に」

ナオミ「なるほど。わたしの場合は１本の線かな。線に沿って滑らせ、相手にねじ込む。最後はカンさ」

みほ（なんの話をしているのかな？）

華「そうなんですか。勉強になります。ところでジェットコースターって、アクティブでステキだと思いません？」

ナオミ「そうだね。動きは読みやすいけどアレに当てるのはなかなか難しそうだ」

みほ「ホントになんの話をしてるの!?」

電撃 G's magazine 2018 年 7 月号掲載
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：本田敏恵　監修：杉本功

大洗女子学園 アヒルさんチーム

磯辺典子

CV 菊地美香

元バレー部で構成されたアヒルさんチームの車長兼装填手。バレー部再興を目指し、根性を武器に戦う熱血少女。

近藤妙子

CV 吉岡麻耶

通信手。バレーでは得意のジャンプサーブで活躍していました。熱くなった仲間には冷静にツッコミを入れます。

河西 忍

CV 桐村まり

バレー部ではアタッカー。おっとりとした我慢強い性格で、八九式中戦車の操縦手として飛躍的に成長しました。

佐々木あけび

CV 中村 桜

砲手。命中精度は高いけれど、主砲の威力が低いのが悩みです。バレー部では堅実なブロックが売りでした。

EPISODE 05 小麦色グラフィティ

沙織「いや〜、やっぱり夏は海！　だよね！」
みほ「わたし、お友達と海水浴に来るなんて初めて！（にこにこ）」
華「え？　そうなんですか？」
みほ「うん。子供の頃に何回か家族で海に行ったことはあるけど、それからはずっと戦車道ばっかりだったから」
沙織「へー、やっぱ家元って大変なんだね〜」
華「でも、みほさんが戦車道を続けてくれていたからこそ、みほさんとこうやってお友達になれたわけですから」
沙織「大変なことでも悪いことばかりじゃないってことね」
華「はい♪」
みほ「2人とも……今日は誘ってくれて本当にありがとう！」
沙織「まーまー、今日はいつもと反対に、わたしがみぽりんに海の楽しみ方を教えちゃうから」
みほ「沙織さんは、よく海水浴に来てたの？」
沙織「そりゃ大洗は目の前に海があるんだから、夏は毎日海水浴だよ。麻子も引っ張りだして2人で真っ黒に日焼けしてたなー」
みほ「麻子さん、嫌がってなかったの？」
沙織「そう！　あの子ほっとくとずーっと家にいるから、麻子のおばあに頼まれて、毎日連れ出してたんだ♪」
みほ「あはは……華さんも海によく行ってたの？」
華「ええ。私も水戸生まれですから、沙織さんほどではありませんが、大洗の海水浴場にはよく行ってました」
沙織「へー、そうなんだ。じゃ、小さい頃会ってたかもしれないんだ」
華「そうですね。ところで麻子さんと優花里さんはどちらに行かれたんでしょう」
みほ「麻子さんは『ここじゃ暑いし眩しいし眠れない』って言い残して、海の家に行っちゃったけど」
沙織「もー、あの子小さい時からなんにも変わってないんだから！」
みほ「優花里さんはさっき、エルヴィンさんと『さばげー？』をしてきます、だって」
沙織「カバさんチームのみんなもここに来てたんだ」
みほ「そうみたい」

華「『さばげー』ですか？」
みほ「水鉄砲を持ってたから、それで遊ぶんじゃないかな？」
沙織「なんで水鉄砲？」
みほ「よくわかんないけど、優花里さん『リベンジです一！』とか言ってた」
華「水鉄砲……リベンジ……これは抗争とか出入りとかいうものでしょうか！」
沙織「いや、そんなわけないから……でも、ゆかりんもカバさんも海を満喫してるってことね。麻子もまあ、アレはアレで麻子なりに満喫してると言えなくもないか……」
華「たしかにお休みですし、思い思いの時間を過ごすのが一番かと」
沙織「じゃあ、わたしたちはなにしよっか？」
みほ「わたしは、ひなたぼっこがいいな。気持ちよさそう」
沙織「ひなたぼっこはいいけど、日焼けは乙女の大敵よ！」
みほ「え、そうなの？」
沙織「わたし日焼け止めのオイル持ってきてるから、塗ってあげる！」
みほ「ありがとう、沙織さん」
沙織「まかせて。じゃあまずはここにオイルを……こうして」
みほ「ひゃんっ！　くすぐったいよ〜」
沙織「こんな感じで……よし、完成」
みほ「沙織さん、なにしてるの……？」
沙織「オイルで背中に絵を描いたんだけど、なんの絵かわかる？」
みほ「えっと……戦車と、あんこう？」
沙織「すごい！　正解！」
華「さすがですね」
みほ「わたしの背中で遊ばないで〜（涙）」
沙織「あはは、ごめんごめん。あとは普通に塗るから」
みほ「うん、お願い」
沙織「ところでさ、こんな年頃の乙女が3人もいるのに、なんで全然ナンパされないの？」
華「それはそうですよ。だってここ、男の人いませんし」
みほ「会長さんの気まぐれで寄った、無人島だしね……」
沙織「そういえばそうだった！　あーもう、男の人さえいれば、バンバンナンパされるはずなのに！」
みほ（それはどうかなぁ……あはは）

電撃G's magazine 2018年8月号掲載
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：本田敏恵　監修：杉本功

大洗女子学園 カバさんチーム

カエサル

CV 仙台エリ

歴史好き女子たちで構成されるカバさんチームのリーダー兼装填手。古代ローマ史に詳しいです。

エルヴィン

CV 森谷里美

ドイツ軍の名将エルヴィン・ロンメルに傾倒する車長兼通信手です。得意ジャンルは欧州戦史。

左衛門佐

CV 井上優佳

日本の戦国時代マニアです。得意の弓道に通じているためか、敵に狙いをつける砲手を担当しています。

おりょう

CV 大橋歩夕

幕末史が好きで、坂本竜馬の口調やスタイルを常に真似ています。操縦手として日々成長中です。

EPISODE 06 水入らずのスプラッシュ

アキ「それー！　集中砲火だー！」

カルパッチョ「わわっ！　もー、お返しです！」

ペパロニ「このペパロニ様にスピード勝負で勝てると思ったら大間違いっスよ！」

ミッコ「天下のクリスティー式、じゃなかった、ミッコ式走法なめんなよ〜！」

アンチョビ「さて、我々アンツィオ高校戦車道チームは夏休みのお楽しみでプールに来ているわけだが」

ミカ「お楽しみ……それに意味はあるのかい？（ポロロン♪）」

アンチョビ「まさかこんなところでお前らに出くわすとは、思いもよらなかったな」

ミカ「水と一緒に、流れてきたのさ（ポロロン♪）」

アンチョビ「まあなんでもいい。せっかく出会えたんだ、一緒にプールを楽しもうじゃないか」

ミカ「なんでも一緒にやればいいってもんじゃ、ないんじゃないかな？（ポロロン♪）」

アンチョビ「そんなことはない！　大学選抜との試合も、一緒にやったからこそ素晴らしい結果に結びついただろ。一緒にやるのはいいことだぞ」

ミカ「孤独を愛する人間を縛ることはできないのさ（ポロロン♪）」

アンチョビ「……まあ、そういうこともあるか。ランチにパスタとピザをたっぷり用意してきたんだけど、しょうがないな」

「・」

アンチョビ「リゾットもミネストローネもあるし、食後のドルチェは自信作だったのにな一」

ミカ「……（ポロロン♪）」

アンチョビ「でも自分の考えは大事だからな！　また次の機会に一緒に食べような」

ミカ「孤独を愛していても、たまには縛られたい時があるかもしれない」

アンチョビ「ん？　よくわかんないな、どういうことだ？」

ミカ「（ポロロン♪）」

アンチョビ「？？？　さっぱりわからん」

「……」

アンチョビ「・」

ミカ「ご飯にお呼ばれされてもいい、ちょっとそう思ったださけさ」

アンチョビ「なんだ！　そういうことか、歓迎するぞ!!　よし、そうと決まれば腹ごなしに運動だ!!」

ミカ「は？」

アンチョビ「まずはウォータースライダーだな。あ、その妙な楽器は濡れると危ないから置いてった方がいいぞ」

ミカ「そんなものに・」

アンチョビ「いいからいいから！　ホラ、行くぞアヴァンティ！　さあ登ってきたぞ、どうだこの眺め。ここのウォータースライダーはなかなかの高さだから、一気に滑り降りると楽しいぞ〜」

ミカ「こんなことに意味があるとは…」

アンチョビ「やってみないとわかんないだろ。ほい！」

ドンッ

ミカ「!?」

ザザザーーッ！

ドバーン！

アンチョビ「ははは！　気分爽快！　どうだ、感想は？」

ミカ「……勢いのある流れもたまにはいいものだね」

アンチョビ「だろう。やってみないとわからないこともある、そういうものなんじゃないか？」

ミカ「もう一度流れに身を任せてもいいかもしれない」

アンチョビ「よし来た。じゃあ次は２人で流れるとするか！」

「フフッ」

電撃 G's magazine 2018年9月号掲載
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
背景：本田敏恵　監修：杉本功

大洗女子学園 ウサギさんチーム

澤 梓

CV 竹内仁美

1年生で結成されたウサギさんチームの車長。慎重さと思いやりの深さでチームのまとめ役に。

山郷あゆみ

CV 中里 望

ボーイッシュでさっぱりした性格の女の子。砲手として75mm主砲を元気いっぱいに操ります。

丸山紗希

CV 小松未可子

おとなしくてほとんど話さない37mm副砲の装填手。時々口を開くと鋭いひと言を発します。

阪口桂利奈

CV 多田このみ

アニメ・特撮好きの操縦手。難しいことを考えるより先に、行動でピンチを打開する頼もしい存在。

宇津木優季

CV 山岡ゆり

いつも笑顔の、マイペースなのんびり屋。通信手兼75mm主砲の装填手として仲間たちを支えます。

大野あや

CV 秋奈

明るい性格でチームのムードメーカーの37mm副砲砲手。試合で撃破されるとメガネが割れがち。

チョコ
特製
お好み

EPISODE 07 戦車道姉妹の挟撃祭り

みほ「おねえちゃんと一緒にお祭りなんて、すごく久しぶりだね♪」

まほ「そうだな」

エリカ「あの一、隊長？」

まほ「どうしたエリカ。なにかあったか？」

エリカ「えーと、なぜ私も呼ばれたのでしょうか……」

まほ「以前エリカもお祭りに行ってみたいと言っていただろう。みほに誘われた時、せっかくだからと思ったのだが迷惑だったか？」

エリカ「いえ！　そんなことはありません！」

みほ「子供の頃は、よくお姉ちゃんと一緒に来たよね」

まほ「ああ。みほは金魚すくいが大好きで、お祭りに行くと必ずやっていたな」

みほ「うん！　ふふっ、またやってみたいな」

まほ「金魚すくいの紙がすぐに破れても泣くんじゃないぞ」

みほ「えー、もう大人なんだからそんなことしないよー」

エリカ「（小声）くっ……まったく話に入れないわ。せっかく隊長とお祭りに来てるのに……」

みほ「エリカさん、どうかしたの？」

エリカ「えっ!?　なんでもないわ」

みほ「エリカさんは、お祭りといえばなにが好きなの？」

エリカ「えー、そうね……かき氷とか……？」

みほ「うんうん、お祭りのかき氷ってなんかおいしいよね！　他には？」

エリカ「他は……たこ焼きとかお好み焼きとか……」

まほ「エリカは、食べることが好きなんだな」

エリカ「ちょっ!?　いや、別にそんなことは……」

エリカ（いきなり話を振られたから、なんか食いしん坊みたいに思われちゃったじゃない……）

みほ「あっ、お好み焼きの屋台発見！　みんなで一緒に食べない？」

エリカ「いや、私はあとでいいわ」

みほ「あれ？　エリカさん、お好み焼き好きじゃなかったの？」

まほ「エリカ、遠慮するな。せっかくのお祭りだ、楽しまないと損だぞ」

エリカ「はい……ではちょっと買ってきます」

エリカ（うう、完全に食いしん坊枠になっちゃったわ、なんか調子狂うわね……）

みほ「あああああーっ！」

エリカ「え!?　なに!?」

みほ「エリカさんの首に、虫が！」

エリカ「ええええええ!?　虫!?」

まほ「動くなエリカ！　虫が襟から浴衣の中に入ろうとしているぞ！」

エリカ「動くなと言われましても!?　ひゃっ！　首筋になにかいる!?」

まほ「みほ！　私がエリカを押さえている間に、虫を取るんだ！」

みほ「わかった！」

エリカ「えええ!?　ちょっと、どこ触ってんのよ！」

みほ「ごめんなさい、なんかこの虫、動くから」

エリカ「虫なんだから動くに決まってるでしょ！　いいからさっさと取ってよ！　なんなら自分で……」

まほ「（グイッ）ダメだエリカ。ヘタに動くと刺されるかもしれない。じっとしていた方がいい」

みほ「エリカさんもう少し待っててね。慎重に、慎重に……あれ？　また逃げられた」

エリカ**「ちょっとぉぉぉ!?!?」**

電撃 G's magazine 2018 年 10 月号掲載
原画：阿部宗孝　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

大洗女子学園 カモさんチーム

園(その) みどり子(こ)

CV 井澤詩織

愛称は"そど子"。風紀委員で構成されたカモさんチームの車長兼副砲砲手兼装填手。生徒たちに規則を守らせようと口うるさいけれど、遅刻常習犯の麻子とは気が合う様子。

後藤(ごとう) モヨ子(こ)

CV 井澤詩織

愛称は"ごも代"。操縦手を務めます。同じおかっぱ頭の風紀委員3人娘の中では、一番髪が長いようです。

金春(こんぱる) 希美(のぞみ)

CV 井澤詩織

愛称は"パゾ美"。主砲砲手兼通信手としてチームを支えています。おかっぱの長さは3人の中で一番短いです。

EPISODE 08 小さな暴君・潜入作戦

園児「わーい！　わーい！」
園児「せんせー、こっちであそぼー！」
クラーラ「すぐに行きます（にこにこ）」
園児「せんせー、ぶらんこー！」
ノンナ「はいはい、押してあげましょうね（にこにこ）」
カチューシャ「ちょっとノンナ」
園児「せんせー、つぎこれー！」
クラーラ「シーソーに乗るのですね。気をつけて」
ノンナ「次はお砂場で遊びますか？」
カチューシャ「ノンナ!!!」
ノンナ「どうしましたか、カチューシャ」
カチューシャ「どうもこうもないわ！　なんでノンナたちは先生の格好してるのに、カチューシャだけ幼稚園児の服なのよ!?」
ノンナ「この園児たちは敵だからです」
カチューシャ「敵!?」
ノンナ「はい、その通りです」
カチューシャ「幼稚園児が敵なわけないでしょ!!」
ノンナ「勝利にたどりつくには敵を知ることが必要不可欠なのです」
カチューシャ「ちょっと話を聞きなさいよ！」
ノンナ「敵の集団に潜入し、情報を収集する。カチューシャはそれが理解できないのですか？」
カチューシャ「それは！　当然わかるけど・・・」
ノンナ「この任務は同志カチューシャでなければできないのです」
カチューシャ「カチューシャにしかできない？」
ノンナ「はい。本来なら私かクラーラが行うべき任務ですが、私たちではとても・・・」
カチューシャ「ノンナやクラーラにはできない……」
ノンナ「カチューシャ、どうかお願いします。カチューシャの力でプラウダに勝利を」
カチューシャ「……任せなさい！　カチューシャにかかればこんな任務、ちょろいものよ！」
ノンナ「では早速、園児たちと一緒に遊んでください」
カチューシャ「はぁ!?」
ノンナ「はい。敵を深く知るには、敵と同化するべし。しかし、私たちにはどうしてもこれができないのです」

カチューシャ「うーん、なんか納得いかないけど、わかったわ。ホラ、そこの園児。カチューシャが遊んであげるから感謝するのよ」
園児「ホント!?　お姉ちゃん、ありがとう！」
カチューシャ「お姉ちゃん……なんか悪くないわね。こうなったら、このカチューシャ様が本物の遊びってやつをアンタに教えてあげるわ」
園児「わーい、やったぁー！」
カチューシャ「まず砂場では、トーチカを作るのよ（がしがしがし）」
園児「こう？」
カチューシャ「そんなんじゃダメ！　トーチカってのはね、もっと頑丈にしないと（ぺたぺたぺた）」
園児「うわぁー、おねえちゃんすっごーい！」
カチューシャ「フフン、ザッとこんなもんよ」
クラーラ「Ах, Катюша в детсадовской форме очаровательна, как весенняя оттепель!（幼稚園児の服を着たカチューシャ様、春の雪融けのようなかわいらしさです！）」
ノンナ「Абсолютно согласна.（まったく同感です）」
クラーラ「Но, дорогая Нонна, правильно ли мы поступаем? Это же ваша учебная практика. Если Катюша заметит, она на тебя рассердится…（しかし、よろしいのでしょうかノンナ様。これはカチューシャ様とノンナ様の職業体験。もしバレてしまったら、カチューシャ様は怒ってしまうのでは……）」
ノンナ「Если не заметит - то ничего и не произойдет.（バレなければなんの問題もありません）」
クラーラ「И то верно!（それもそうですね♪）」
カチューシャ「ちょっとあんたたち！　日本語で話しなさいよ！」
ノンナ「そんなことよりカチューシャ、園児のみんながカチューシャを呼んでいますよ」
園児「かちゅーしゃおねえちゃん、こっちこっち！」
カチューシャ「しょうがないわね、次はジャングルジムで陣取り合戦よ！　カチューシャが戦術を教えてあげるわ！」
園児「やったぁー！」
カチューシャ「みんな、このカチューシャについてくるのよ！」
園児「はーい！」
カチューシャ「はい！じゃないわ、『ウラー!!』よ！」
園児「ウラー!!」

電撃 G's magazine 2018 年 11 月号掲載
原画：阿部宗孝　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功
ロシア語監修：Jenya（クラーラ役）

大洗女子学園 レオポンさんチーム

ナカジマ

CV 山本希望

自動車部が集まったレオポンさんチームの車長兼通信手。"雨はナカジマ"と呼ばれるほど雨の日の外出が好き。

スズキ

CV 石原 舞

日焼けした肌とクセっ毛がチャーミングな装填手。将来、プロ戦車道チームのオーナーになる夢を持っています。

ホシノ

CV 金元寿子

タンクトップ姿が印象的な砲手。車の運転が得意で、"大洗一早い女"の異名を持つスピードクイーンです。

ツチヤ

CV 喜多村英梨

ポルシェティーガーを操る操縦手。ドリフトと金曜日のドリンクバーが好きなため"ドリキン"と呼ばれます。

PPY HA

EPISODE 09 マジカル・アリスがボッコボコ！

メグミ「今日のハロウィンパーティーは全力で行くわよ」
ルミ「わかってるって」
アズミ「愛里寿隊長と仲良くなる大チャンス、絶対に成功させましょう」
ルミ「この日のために、隊長が好きなボコのアニメも研究したしね」
メグミ「ボコさんのグッズも買ってきたし。お菓子もちゃんと用意したわ」
アズミ「部屋の飾り付けもバッチリ、準備は万端ね」
　ガチャリ。
愛里寿「……ここでパーティーするの？」
ルミ「愛里寿隊長、待ってました！」
アズミ「隊長、さっそくこれに着替えてもらえますか？」
愛里寿「うん……（ごそごそ）あ、ボコ！」
アズミ「二の腕にボコさん、魔法のスティックにもボコさん、愛里寿隊長、とてもよくお似合いですよ」
愛里寿「これ……すごくいい。みんな、ありがとう」
アズミ・ルミ・メグミ「よっしゃーっ！」
メグミ「（小声）隊長のあの衣装、メチャクチャかわいいじゃない！」
アズミ「（小声）さりげなく隊長から好みを聞き出して、前々から準備してたんだから！」
ルミ「（小声）いやー、さっすがアズミ！　よし、じゃあ次のステップだ。隊長にボコさんになりきってもらう作戦、開始！」
アズミ・メグミ「（小声）オーケー！」
愛里寿「みんな、なに話してるの？」
アズミ「こんにちは、私、オオカミ女。ボコさん、お菓子でもいかがですか？」
愛里寿「え？」
メグミ「えーと、私はミイラ……ミイラって男なの？　女なの？」
愛里寿「みんなどうしたの？」
ルミ「（小声）おいおいおい2人ともちゃんとアニメも観たのか？……こうだろ」
愛里寿「……ルミ？」
ルミ「おうおうおうおう、このドラキュラ様のシマに無断で入ってくるとはいい度胸じゃねーか」
愛里寿「え？　これパーティーなんじゃ？」
ルミ「お、オマエなかなかいいクマのステッキ持ってるじゃねーか。通行料としてもらってやるぜ！」
愛里寿「これはダメ！」
ルミ「ああん？　ボコボコにされてーのか？」
愛里寿「うう……ボコ、ボコ、力を貸して……」
ルミ「そうそう、おとなしくしてりゃわるいようにはしねーからよ」
愛里寿「おまえ……おいらにケンカを売って……る……つもり……うぅ（涙ぐむ）」
アズミ「（小声）ルミ、ノリノリね」
メグミ「（小声）でもこのままだと、愛里寿隊長が泣いちゃうんじゃない」
アズミ「（小声）どうする？　やめさせる？」
ルミ「よーし、よし、いい子だ。じゃ、このステッキはもらってくぜ」
愛里寿「うう……」
アズミ「ルミ、ちょっと」
メグミ「さすがにマズいわよ」
愛里寿「……黙って聞いてりゃ、いい気になりやがって！」
アズミ・メグミ「あ」
愛里寿「オイラにケンカを売るとはいい度胸だ！　オイラが本気を出したら、ドラキュラなんか天日干しにしてその上でサンバを踊ってやるぜ！」
ルミ「天日干し、だと!?」
愛里寿「おう、やってやるぜ！」
ルミ「ひぃー、天日干しだけはカンベンしてくれ、灰になっちまう！」
愛里寿「それじゃ、オイラにケンカを売るのはやめるんだな」
ルミ「わ、わかった」
愛里寿「……ふぅ」
一同「……」
ルミ「隊長！　スゴイじゃないですか！」
メグミ「ホント、まるでボコさんみたいでした」
愛里寿「えっと、必死だったから」
アズミ「ボコさんもきっと喜んでると思いますよ、愛里寿隊長」
愛里寿「そうかな？　……そうだったらうれしいな……」
メグミ「さ、ホントのハロウィンパーティーを始めましょうか」
アズミ「お菓子もたくさん用意してありますよ」
ルミ「どんどん食べてくださいね」
愛里寿「……うん！」

電撃 G's magazine 2018 年 12 月号掲載
原画：阿部宗孝　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

大洗女子学園 アリクイさんチーム

ねこにゃー

CV 葉山いくみ

オンライン戦車ゲーム仲間で結成されたアリクイさんチームの車長兼通信手。本当の名字は猫田。いつも猫背で伏し目がちですが隠れ美人とのウワサ。

ももがー

CV 倉田雅世

オンラインゲームの経験を生かして三式中戦車(チヌ)を操る操縦手。その名の通り、ピンクのカチューシャと、桃の形をした眼帯がトレードマークです。

ぴよたん

CV 上坂すみれ

そばかすと大きな胸が魅力的な砲手兼装填手。チームの仲間たちといっしょに小学校での合宿生活で特訓し、砲弾を片手で扱えるほど身体を鍛えました。

EPISODE 10 ラスティング・クリスマス

杏「クリスマスと言えばやっぱり、あんこう鍋パーティーだよねえ」

柚子「去年とおととしは生徒会室でやったけど、今年は杏の部屋ね」

「まずは材料の買い出しだ。白菜、春菊、ネギ、にんじん、しいたけ、しらたき、焼き豆腐……と、あとは主役のあんこうか」

杏「あん肝も忘れないでねー」

桃「はっ、もちろんです」

柚子「去年は買い出しを桃ちゃんに頼んだら、あん肝買い忘れてもう1回スーパーまで走ってたよね」

桃「誰にだって1回くらい間違いはある」

杏「おととしも河嶋に買い出しを任せたっけ。あの時はたしか……焼き豆腐と間違えて卵豆腐買ってきたよね」

「面目次第もありません……」

杏「いや、アレはアレでオツな味だったし、いーよいーよ」

柚子「今年はこうして3人で買い出しに行くんだから、桃ちゃんが間違えても大丈夫よ」

桃「今年こそはきちんと買い物を成し遂げてみせる！」

杏「あ、そうそう。クリスマス恒例のプレゼント交換、忘れてないよね？」

柚子「うん、ちゃんと用意してるよ。桃ちゃんは？」

桃「当然、準備万端だ」

杏「また変なもの持ってきてるんじゃないのー？」

柚子「桃ちゃん、去年は手作りの将棋セット持ってきてたよね」

杏「あー、木彫りのやつね。丁寧に作ってたけど、飛車が3枚あって角が1枚しかなくて、歩が2枚足りなかったんだよねー」

柚子「あと桂馬の字が競馬になってたよ」

「ぐっ……」

杏「おととしはたしか、手編みのセーターだったっけ？」

柚子「ふかふかであったかそうなんだけど、袖の長さが右と左で20センチくらい違ったよね」

「ぐぬぬっ……」

杏「今年はどんなプレゼントかなー？　ま、楽しみにしとくよ」

桃「会長はやっぱり、例年通りの……」

杏「うんにゃ、違うよ」

柚子「え!?」

桃「一体なんですか!!」

杏「去年おととしはお店で買ったけど、今年は手作りの干し芋1年ぶーん！」

桃「やっぱり干し芋じゃないですか……」

柚子「あははは！」

杏「いやー、しかしとりあえず、これが高校生活最後のイベントになるのかなー」

柚子「あんこう鍋パーティーだけじゃなくて、いろいろやったよね。どろんこ祭りとか水かけ祭りとか、学校中巻き込んで」

桃「会長はお祭り好きだからな」

柚子「けどだいたいどのイベントでも、桃ちゃんはヒドい目に遭ってたよね。どろんこに埋まったり水かけられすぎて溺れかけたり」

桃「いいんだ。会長が楽しんでくれれば、それが私の喜びだ」

杏「いやほんと、2人のおかげで、楽しい高校生活だったね〜」

柚子「そうね……終わっちゃうのが、なんかもったいないね」

「あんこう鍋パーティーも、今年で最後か……ううっ（涙）」

杏「まーまー、違う進路になってもまた3人で集まればいいじゃん」

「会長〜〜!?」

柚子「パーティーが終わったら勉強教えてあげるから、同じ学校に行けるようにがんばろ、桃ちゃん」

桃「いやそこは、勉強ではなく戦車道の推薦でなんとか……」

杏「ダメだった時のためにも、勉強はしといたほうがいいと思うよ〜」

柚子「そうね。今日は徹夜で勉強会ね」

桃「徹夜!?」

杏「長い夜になりそうだねー。はっはっは」

桃「とほほ……」

電撃 G's magazine 2019年1月号
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

大洗女子学園 サメさんチーム

お銀(さん)

CV 佐倉綾音

新戦力として加わったサメさんチームの車長。学園艦艦底の荒くれ者たちのリーダーです。別名は“竜巻のお銀”。

ラム

CV 高森奈津美

ニックネームは“爆弾低気圧のラム”。赤毛のパーマが特徴の操縦手で、お銀を強く慕っています。

ムラカミ

CV 大地 葉

ニックネームは“サルガッソーのムラカミ”。砲手を務める、大柄でケンカっ早い女生徒です。

フリント

CV 米澤 円

ニックネームは“大波のフリント”。スラリとした長身美人の操縦手兼通信手。歌が大の得意です。

カトラス

CV 七瀬亜深

ニックネームは“生しらす丼のカトラス”。バーテンダーも務める寡黙でクールな砲手です。

ダージリン「困りましたわね……うまく着られませんわ」

福田「ダージリン殿、いましばらくお待ちください！」

西「福田、私のほうはもういいから、ダージリンさんの着付けを手伝って差し上げたらどうだ？」

福田「いえ！　そうはいかないのであります！」

西「なぜだ？　そもそも私は１人でも着付けはできるのだが」

福田「いけません。和服というのは後ろ姿が肝心なのであります。おばば様もおっしゃっておられました。『和服姿は、どこから見てもぴしっと決まっていないといけない』と！　ゆえにこの福田が、後ろのほうまでぴしっ、ぴしっ、と整えるのであります」

西「なるほど、だがそこまで気合を入れなくてもいいんじゃないか？」

福田「とんでもありません！　晴着は乙女の戦衣装！　一分の隙も許されないのであります！」

西「ふむ……そういうこともあるのか」

ダージリン「こだわりはとてもよくわかりましたが、待ち合わせの時間に間に合うのかしら？」

西「申し訳ありませんダージリンさん。ぜひ初詣をご一緒したいと我々が招待しておきながら……」

福田「問題ありません。待ち合わせ時間ぴったりにお２人の艶姿を整えて差し上げます。この福田にお任せを！」

ダージリン「わかりましたわ。では待たせていただきましょう」

西「年末年始のお忙しい中にもかかわらず馳せ参じていただいたのに、重ね重ね申し訳ありません」

ダージリン「構いませんわ。こんな新年の過ごし方は初めてですもの。興味深いわね」

福田「そうなのでありますか？」

ダージリン「聖グロリアーナには、初詣という慣習はないのよ。だから、年越しはカウントダウンを聴きながら紅茶をたしなんで、夜半過ぎにはベッドに入るの」

西「それは、ほぼいつも通りということでは……」

ダージリン「お２人は、年末年始はどうお過ごしになられたの？」

福田「福田はいつか年を越え、二年参りを行うことが宿願なのであります！」

ダージリン「あら、かわいらしい野望ね。フフフ」

福田「ですが今年もコタツとみかんの魔力にやられ、歌合戦の途中で撃沈してしまったのであります……」

ダージリン「あらあら、それは残念。西さんはどうなさってたの？」

西「私は、毎年大晦日は過ぎゆく年に感謝をこめて朝から大掃除を実施します。そして暗くなる頃に年越しそばを食べ、年が明ける前に近所の神社で二年参りです」

福田「なんと、西隊長はすでに二年参りを！　さすがであります！　福田はまだまだ未熟であります」

（トントントン）

玉田「西隊長！　そろそろ初詣に参りましょうぞ！　隊員一同、待機しております！」

福田「ええーっ!?」

西「玉田どうした、少し待ち合わせには早くないか？」

玉田「はっ、善は急げ！　一同、初詣が待ちきれなくて１時間早く参りました!!」

ダージリン「あらあら」

西「うーむ、困ったな」

福田「玉田殿、武士の情けであります！　お時間を、いましばらくお時間を～!!」

電撃 G's magazine 2019 年 2 月号掲載
原画：逢村六　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE びーしーじゆうがくえん

BC自由学園

華麗なフランス風の学園。内部ではエスカレーター入学の生徒と外部入学の生徒が対立してるというウワサも……？

マリー

CV 原 由実

BC自由学園戦車道チームの隊長。天真爛漫な性格で、学園内のいざこざにはあまり関心がない様子。試合中でもケーキを食べているほどの、大のスイーツ好きです。

安藤（あんどう）

CV 澤田美波

S35の車長で、学園内の外部生組のリーダー。エスカレーター組のことを"温室育ち"と呼び、よく思っていない様子。押田とは、よく衝突しています。

押田（おしだ）

CV 安済知佳

ARL44の車長でエスカレーター組のリーダー。マリーを強く慕っている一方、外部生組とは対立しています。押田との意地の張り合いは学園の名物!?

祖父江（そふえ）

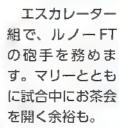
CV 石上美帆

マリーの乗るフラッグ車ルノーFTの操縦手。エスカレーター組で、縦ロールの髪がとても上品です。

砂部（いさべ）

CV 中里 望

エスカレーター組で、ルノーFTの砲手を務めます。マリーとともに試合中にお茶会を開く余裕も。

EPISODE 12 船底から愛をこめて!?

そど子「まったく、船底付近っていつ来てもひどいところね。薄暗いし、不潔だし、散らかってるし」
麻子「じゃあなんでわざわざ来たんだ？」
そど子「見回りに決まってるじゃない！　元風紀委員長としては、風紀の乱れの温床を、見て見ぬふりはできないわ！」
麻子「なるほどそれはわかったが」
そど子「わかればいいのよ」
麻子「なんで私がここにいるのかがわからない」
そど子「それは……」
麻子「1人で来るのが怖かったのか？」
そど子「うっ……そんなわけないでしょ！　元風紀委員長、園みどり子に怖いものなんてあるわけないじゃない！」
カトラス「ちょっと」
そど子「（ビクッ！　として）ひぃいっ！」
麻子「ん？　ああ、サメさんチームの」
カトラス「カトラスだ」
そど子「なによあなた！　いきなり後ろから声かけるなんて、礼儀がなってないわね！」
カトラス「礼儀はなくても仁義はある。寄ってきな」
そど子「言われなくても入らせてもらうわ。風紀の乱れがないか、チェックしないと」
麻子「はいはい」
　ガチャリ。
カトラス「1杯おごるわ。お近づきのしるしに」
そど子「おごるって、どうせまたあのメチャクチャ辛いやつじゃないの？」
カトラス「そう。どん底名物、ハバネロクラブ」
麻子「遠慮しておく」
カトラス「そう、それは残念」
　コトコトコトコト。
麻子「甘い香り……？」
カトラス「ホットチョコレート。あっても誰も飲まないから。私のまかないよ」
そど子「なによ、甘いのがあるんならそっちを飲ませなさいよ！」
麻子「そうしてくれ」
カトラス「ハバネロクラブよりこっちがいいなんて、変わってるわね」
そど子「あなたたちが変わってるのよ！」
カトラス「まあいいわ。はい、どうぞ」
　こく、こく、こく。
麻子「甘い……おいしい……」
そど子「ふぅ、あったまるわね」
[illegible]「ふぁ〜あ……温かいものを飲むと、眠くなる……」
そど子「はしたない子ね、大口あけてあくびなんかして……ふぁ〜あ。ほら、あなたがあくびするからうつっちゃったじゃない」
麻子「人のせいにするのはよくないぞ、そど子……それに、いいのか？」
そど子「なにがよ……」
麻子「今日はバレンタインデーだ。元風紀委員長がチョコレートをもらうのは校則違反なんじゃないか、そど子。むにゃむにゃ……」
そど子「見回りの最中に飲み物を勧められて飲んだだけよ。バレンタインなんか関係ないわ……それよりそど子って呼ばないでよ。むにゃむにゃ」
麻子「……そど子はそど子だろう。すーっ……すーっ……」
そど子「すーっ……すーっ……」
カトラス「ホラ、風邪引くよ」
　ファサッ。
麻子「ん……助かる」
そど子「んん……毛布なんて掛けたら本当に眠っちゃうじゃない……」
カトラス「と言うわりには毛布を離さないのね」
麻子「ぬくぬくだ……この幸せがずっと続けばいいのに……すーっ……すーっ……」
そど子「すーっ……すーっ……」

電撃G's magazine 2019年3月号掲載
原画：逢村六　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
CG美術：室薗勇輝（シフトアール）　監修：杉本功

CHARACTER FILE せんとぐろりあーなじょがくいん

聖グロリアーナ女学院

英国戦車を用いる全国屈指の強豪校。紅茶好きの校風で、戦車道チームのメンバーはみんな紅茶の名前をもらっています。

ダージリン

CV 喜多村英梨

聖グロリアーナの隊長。試合中であろうと常に紅茶を手放さず、優雅な振る舞いを保っています。英国のさまざまな格言を引用して話す趣味があります。

アッサム

CV 明坂聡美

ブロンド髪の華麗なルックスを持つ砲手。データ分析が得意な知性派で、ダージリンからの信頼も厚いです。

オレンジペコ

CV 石原 舞

実直な働きを見せる装填手。先輩のダージリンのお付きのポジションで、話の聞き役になることも多いです。

ルクリリ

CV 倉田雅世

マチルダの戦車長として活躍。聖グロリアーナの中では珍しく、血気盛んで口調も荒い生徒です。

ローズヒップ

CV 高森奈津美

クルセイダー Mk.III の車長で、学院随一のスピード狂。優雅に振る舞おうとしてもすぐガサツな地が出ます。

EPISODE 13 西住流医療術!?

華「珍しいですよね、みほさんが風邪を引いて学校をお休みするなんて」
沙織「華……アンタみぽりんを一体なんだと思ってるのよ。みぽりんだって人間なんだから風邪くらい引くでしょ」
華「確かに……それにひとり暮らしで風邪を引くのは心細いものですからね」
沙織「そうそう。みぽりん今頃さびしがってるよ」
　ピンポーン
　ガチャッ
華「チャイムを鳴らしただけで、ドアが開きましたね」
沙織「自動ドア？　……ってみぽりん!?」
みほ「ごほ、ごほ……あれ？　沙織さん、華さん、どうしたの？」
沙織「どうしたのって……お見舞いに決まってるじゃん！」
みほ「お見舞い？　誰か入院でもしたの？」
華「いえ……私たちみほさんのお見舞いに来たんですけど……どこかにお出かけですか？」
みほ「うん、ちょっと熱っぽいから、10キロくらい走ってから水のお風呂で熱を下げようと思ったんだけど……」
華「はい？」
沙織「なに言ってんのこの子は!?」
みほ「え……？」

♥　♥　♥

沙織「はい！　まずはベッドに寝る！」
みほ「え、あ……はい」
華「まずはおかゆでしょうか？」
沙織「そうね」
みほ「おかゆ作るの？　わたし、手伝うよ」
沙織「病人は黙ってベッドであったかくしてる！」
みほ「はい……」
華「沙織さん、おかゆの火加減、このくらいでよろしいでしょうか？」
沙織「……おっけー。華、吹きこぼれないように鍋見といて。わたしはみぽりん着替えさせちゃうから」
みほ「え？　着替えくらい自分で……」
沙織「い・い・か・ら。病人は黙って言うとおりにしてる！」
みほ「……はい」

♥　♥　♥

みほ「うぅ……やっぱりちょっと恥ずかしいよ」
沙織「女同士で恥ずかしがってもしょうがないでしょ。はい、着替え終わり！」
みほ「ありがとう、沙織さん」
華「みほさん、おかゆできましたよ」
みほ「ありがとう華さん。……おいしい。あったまるね」
沙織「ねえ、みぽりん。みぽりんちって、風邪引いたときいつもああなの？」
みほ「え？　……うん、そうだけど。みんなの家は違うの？」
華「……さすが西住流、なのでしょうか（困惑）」
沙織「……あのね。風邪引いた時は消化にいいもの食べて、あったかくしてるものなの」
みほ「そういうものなの？」
沙織「そういうものなの。ホラ、毛布出してあげるから。毛布どこ？」
華「みほさん、喉が渇いてませんか？　お水持ってきましょうか？」
みほ「ふふ……なんだかお姫様になったみたい」
沙織「病気の時くらいはお姫様でいいの。あーあ、私も素敵な王子様に看病されたいなー」
華「麻子さんや優花里さんも、後から桃の缶詰やゼリーを持ってお見舞いに来るそうですよ」
みほ「ホントに!?」
沙織「はいはい。2人が来たら起こしてあげるから、ちょっと寝てなさい」
みほ「はーい」
沙織「華、私洗い物やっちゃうからみぽりん看てて」
華「わかりました」
みほ「（小声）ふふ、こういうのだったらたまに風邪を引くのもいい、かな？」
華「なにかおっしゃいましたか、みほさん？」
みほ「ううん、なんでもない♪」

電撃G's magazine 2019年4月号掲載
原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE さんだーすだいがくふぞくこうこう

サンダース大学付属高校

戦車の保有台数が全国一といわれる裕福な学校。アメリカの戦車を取りそろえ、複数の輸送機まで保有しています。

ケイ

CV 川澄綾子

サンダース大学付属高校の隊長。根っから陽気なアメリカン気質で、スポーツマンシップあふれる堂々とした戦いが好み。そのポジティブな明るさでチームをまとめます。

ナオミ

CV 伊瀬茉莉也

チームの副隊長で、口数の少ない寡黙な職人タイプです。砲手として全国有数の実力者であり、正確な射撃で大洗女子チームを苦しめました。

アリサ

CV 平野 綾

ナオミと並び副隊長を務めるチームのナンバー3。正攻法のケイとは違って策士の一面があり、勝つために手段を選ばない怖さを秘めています。

EPISODE 14 桜の下のスパイたち

カエサル「ひなちゃんと一緒に遊ぶの、ひさしぶりだね」

カルパッチョ「うん、中学の頃を思い出すね。たかちゃん、昔からソフトクリーム好きだったから」

カエサル「あはは、そうだっけ？」

ガサッ

カルパッチョ「……」

カエサル「……」

ガサガサッ

エルヴィン「（小声）カエサルのやつ、妙にウキウキと出かけたから、気になってあとをつけてみたら……」

左衛門佐「（小声）一緒にいるのは、アンツィオ高校の戦車道の選手じゃないか？」

おりょう「（小声）ああ。見覚えがあるぜよ」

エルヴィン「これはすなわち……アンツィオの諜報活動か！」

左衛門佐「うむ、我らが戦力を探る算段に相違ない」

エルヴィン「マズいな……敵の諜報活動は阻止せねば」

おりょう「いやちょっと待つぜよ。あの２人はたしか、『たかちゃん』『ひなちゃん』と呼び合う間柄だったような…」

左衛門佐「甘いぞおりょう。戦国時代においては、親子や兄弟といえども敵対し、互いに腹の内を探り合っていたものだ。昔なじみ程度では信用ならん！」

エルヴィン「左衛門佐の言う通りだ。しかしここで踏み込むのは砂漠の狐の名がすたる！　なんとかカエサルがアンツィオの情報を引き出すように仕向けられないものだろうか……」

ガサガサガサッ　　ドン！

左衛門佐「むっ、体当たりとは何奴だ！」

ペパロニ「あーすんません。ちょっと取り込み中だったもんで」

エルヴィン「奇遇だな、我々も今取り込み中でな」

ペパロニ「へー、そいつは奇遇ッスね」

左衛門佐「いやまったくまったく」

ペパロニ・左衛門佐「…………あ――！（モゴモゴ）」

エルヴィン「おい、静かにしろ」

おりょう「大声出したら２人にバレるぜよ！」

「へー、２人って誰のことなんだ？」

おりょう「そりゃあ、カエサル、お主とアンツィオの間諜の２人に決まってるぜ……よ？」

「ペパロニ、あなたもそうなの？」

ペパロニ「当然!!　カルパッチョがやけに気合い入れて出て行くから怪しいと思ってつけて来たッ……す？」

４人「…………あ（汗）」

カエサル「４人共、なにか言い残すことはあるか？」

カルパッチョ「ペパロニ、怪しいってどういうことなのかしら？」

エルヴィン「ちょっと待てカエサル！　えーと、これは、その、アレだ！」

左衛門佐「そう！　こちらにいるアンツィオの御仁に忍道のなんたるかを教授している最中というかなんというか……」

ペパロニ「そうそうそれッス!!　なんかよくわかんねーけどそんな感じッス！」

おりょう「どんな感じぜよ……（呆）」

カルパッチョ「……はぁ（ため息）」

カエサル「まったく、お前らいい加減に……」

カルパッチョ「ねぇ、たかちゃん。みんな集まったんだし、せっかくだから一緒にどこか遊びに行かない？」

ペパロニ「さすがカルパッチョ、話がわかる!!（必死）」

エルヴィン「異議なし！（必死）」

左衛門佐「さて、どこに参ろうか！」

おりょう「この公園は池があってボートに乗れるから、みんなで漕ぎに行くぜよ！」

カエサル「おい！　お前らちょっとは反省……」

カルパッチョ「まぁまぁ、たかちゃん。２人で遊ぶのはまた今度でもいいじゃない」

カエサル「はーっ、それもそうか。よし、おーい私も行くぞ！置いてくなー！」

電撃 G's magazine 2019 年５月号掲載
原画：逢村六　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：スタジオアカンサス　監修：杉本功

CHARACTER FILE あんつぃおこうこう

アンツィオ高校

よく食べてよく遊ぶイタリア気質のチーム。緻密な作戦よりは大ざっぱな戦い方が得意で、勢いに乗ると侮れません。

アンチョビ

CV 吉岡麻耶

アンツィオ高校戦車道チームの隊長。ちょっぴり抜けてますが、ノリのいいチームメイトたちからは"ドゥーチェ（統帥）"と呼ばれ強く慕われています。

カルパッチョ

CV 早見沙織

アンツィオ高校では貴重な常識人といえる副隊長。大洗女子チームのカエサルとは幼なじみで、「たかちゃん」「ひなちゃん」と呼び合う仲です。

ペパロニ

CV 大地 葉

アンチョビを"姐さん"と慕う副隊長。ノリ重視の大ざっぱな性格で、せっかくの作戦を台無しにしてしまうことも。彼女お手製のナポリタンは絶品。

EPISODE 15 ゆる～く野営訓練です！

みほ「優花里さんごめんなさい、ちょっと用事があって遅れちゃって」
優花里「西住どの一、こっちです！」
みほ「わわっ」
優花里「足元に気をつけてください。慣れてないと、山は歩きづらいですから」
みほ「うん、気をつけるね」
優花里「さあ、こっちの椅子に座ってください」
佐々木「西住隊長、コーヒーいかがですか？」
みほ「佐々木さんありがとう。あれ？　なにかいいにおいがしない？」
優花里「こちらの鍋をご覧ください！」
みほ「わぁ、パエリア。おいしそう～」
佐々木「みんなで頑張って作りました！　自信作ですよ！」
みほ「うん！　すごくいいにおいがするし、きっとおいしいよ」
優花里「わたしもそう思います！」
みほ「今からでも、なにか手伝えることあるかな？」
優花里「大丈夫です、テントももう準備万端です！」
みほ「ほんとだ」
優花里「丸山どのに手伝ってもらいました！」
紗希「……（親指グッ！）」
みほ「丸山さん、ありがとう」
優花里「丸山どのがいてくれて助かりました！」
紗希「……（にっこり）」
桂利奈「『横からのスパイク……これだわ！』」
磯辺「『わっ、ボールが4つに!!』」
桂利奈「『ついに……ついにできたわ！』」
みほ「あの2人はなにしてるの？」
佐々木「キャプテンと桂利奈ちゃんはさっきまで手伝ってくれてたんですけど、終わってからなにか始めたみたいで」
桂利奈「すごい！　磯辺先輩はこのアニメ絶対知ってるって思ってました!!」
磯辺「当然です。あのアニメは私のバイブルです！」
桂利奈・磯辺「だけど涙が出ちゃう、女子高生だもん♪」
佐々木「なにか歌い始めましたね」
みほ「バレーのアニメなのかな？」
優花里「あと、近藤どのと河西どの、それにウサギさんチームの皆さんは魚を捕りに行ってくれてます」
みほ「えっ、魚釣りに行ってるの？　ちゃんと釣れるのかな？」
優花里「大丈夫です！　こんなこともあろうかと、家から各種レーションを持ってきてあります」
みほ「えっ!?」
優花里「備えあれば憂いなし、です！」
みほ「あはは……（汗）」
梓「ただいま戻りました！」
みほ「澤さん、みんな、おかえりなさい」
優花里「釣れてなくても心配ご無用ですよ、ここにちゃーんとレーションが……」
近藤「たくさん獲れました！」
河西「50匹くらい入ってると思います」
優花里「ええっ!?」
みほ「そんなに食べられないよ!?」
優季「大丈夫ですよ～、余ったら干物かくんせいにしちゃいますから～」
あゆみ「でも魚がいてよかったよねー。この前もらった秋山先輩のレーション、ちょっとキツかったもんね」
あや「えーっ、ちょっとじゃないよ。アレ本当に人間の食べ物？　って感じだったじゃん！」
優花里「ううっ……酷い言われようです……」
磯辺「でかしたぞ近藤、河西！」
近藤「マッチポイントの集中力で臨みました」
河西「九死に一生でした！」
佐々木「本当に……本当にみんなありがとう！　ささ、コーヒー飲んでひと休みして」
優花里「あの一、魚がたくさんあるのは素晴らしいことですけど、せっかく持って来たんですから……」
一同「結構です!!」
みほ「優花里さんごめん、わたしもいいかな」
優花里「西住どのまで!?　そんなぁ～～（涙）」

電撃 G's magazine 2019年6月号掲載
原画：逢村六　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE ぷらうだこうこう

プラウダ高校

ソ連製の戦車を多数保有する北国の強豪校。生徒たちはロシア語にも通じています。雪上での戦いに特に強さを発揮します。

カチューシャ

CV 金元寿子

プラウダ高校チーム隊長。全参加チームの中でもひときわ小柄ながら、緻密かつ豪快な戦いを繰り広げる強気な女の子です。ついた異名は“小さな暴君”。

ノンナ

CV 上坂すみれ

長身のクールな副隊長。カチューシャを試合でもプライベートでも献身的にフォローします。ロシア語も堪能。

クラーラ

CV ジェーニャ

プラウダ高校に留学中のロシア人で、T-34/85の車長を任されています。ロシア語はもちろん、日本語も堪能です。

ニーナ

CV 小笠原早紀

KV-2の装填手。チームに潜入した大洗女子チームの優花里を仲間と信じ、温かく接した純粋な少女。

アリーナ

CV 佐藤亜美菜

KV-2装填手として、下級生ながらチームに貢献。同じ車輌に乗るニーナと同じく東北訛りが特徴です。

EPISODE 16 マリー様の首飾り事件

押田「フッ、私にかかれば庶民のアクセサリーの手作りなど、やはり簡単なことだったな」

安藤「なにを！　貴様はついさっきまで、アクセサリーの作り方も知らなかったじゃないか。私が教えてやったからここまでできるようになったんだろう」

押田「作り方など知らなくて当然。アクセサリーは作るものではなく、買うものだ。マリー様が突然『帽子に飾りが欲しいかも』とおっしゃったから、しぶしぶ君に作り方を教えさせてやったんじゃないか」

マリー「今日はいいお天気ね。風が気持ちいいわ」

安藤「その帽子の花飾りは私が作ったんだ！　貴様は小さなブレスレットしか作れなかっただろう」

押田「あれでコツは飲み込んだ。見るがいいこの首飾りを。君のその、作りかけの貧相な首飾りとは格が違うだろう？」

安藤「くっ……材料も道具も私が持ってきたものを使っているくせに。エスカレーター組はいつもこうだ！　我々外部生が積み上げたものを、平然と横取りする！」

押田「才能の差を見せつけられて憤慨するとは、お門違いもはなはだしい。外部生というのは、ルサンチマンの塊だな」

安藤「言わせておけば……っ」

マリー「あら、小さくてかわいいお花」

押田「マリー様！　このゴージャスな首飾りにその花を組み込んで差し上げます！」

安藤「わかってないな貴様は！　野に咲く一輪の花。このシンプルな首飾りにこそ、その花はふさわしい！」

押田・安藤「……」（にらみ合い）

押田「こうなったら仕方ない、隊長に決めてもらおうじゃないか！」

安藤「望むところだ！」

押田・安藤「隊長!!」

マリー「こんな所でケーキを食べたら、とってもおいしいかも♪」

押田「……あの、マリー様？」

安藤「おい、隊長我々の話を全然聞いてないんじゃないか？」

マリー「ケーキ、まだかしら？」

[illegible]「……なぁ、一時休戦にしないか（脱力）」

安藤「……うん、なんかもう、それでいいかな（脱力）」

押田「そうと決まればマリー様、私が最高のケーキを買ってきます！（ダッ！）」

安藤「なんと卑劣な！　負けるものか！（ダダッ!!）」

マリー「あー、いい気持ち♪」

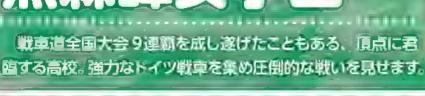
電撃 G's magazine 2019年7月号掲載
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE くろもりみねじょがくえん

黒森峰女学園

戦車道全国大会9連覇を成し遂げたこともある、頂点に君臨する高校。強力なドイツ戦車を集め圧倒的な戦いを見せます。

西住(にしずみ)まほ

CV 田中理恵

黒森峰女学園チームの隊長。西住流戦車道の後継者で、国際強化選手としてメディアも注目する高校ナンバーワン選手です。家を離れた妹のみほをずっと心配していました。

逸見(いつみ)エリカ

CV 生天目仁美

黒森峰女学園チーム副隊長。実力は確かですがプライドの高さもうかがえます。隊長のまほに心酔する一方で、かつて黒森峰の副隊長だったみほのことは批判的に見ています。

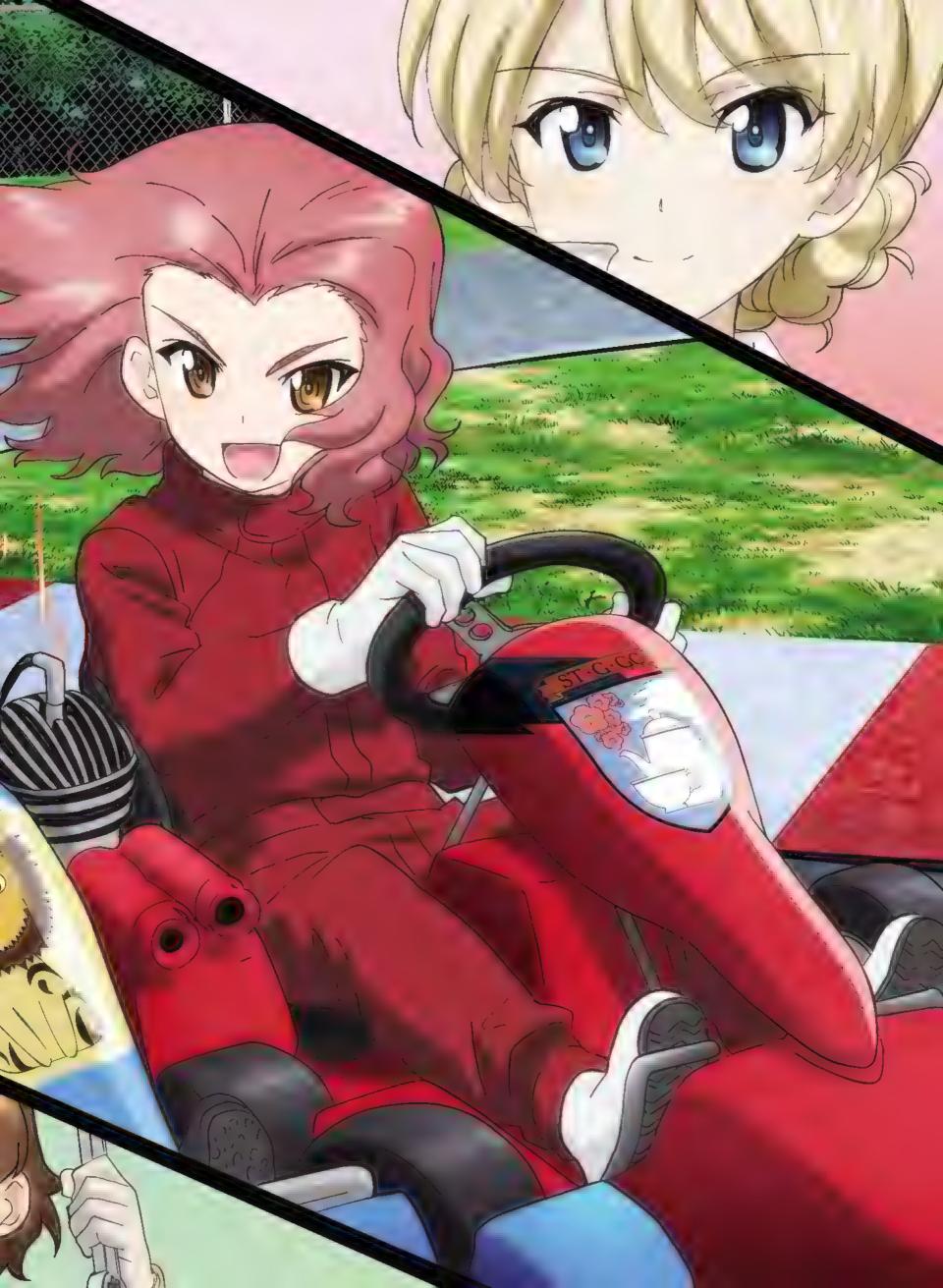
小島(こじま)エミ

CV 葉山いくみ

駆逐戦車ヤークトパンターの車長。大洗女子チームと大学選抜チームの戦いでは、みほの指揮下に入ったことも。

赤星小梅(あかほしこうめ)

CV 仙台エリ

かつて試合中の事故で危機に陥り、当時副隊長だったみほに助けられた生徒。みほへの感謝を胸に秘めていました。

EPISODE 17 最速のティータイム

ローズヒップ「なかなかおやりになるんでございますわね、ホシノさん！」
ホシノ「ローズヒップさんも、いい攻めっぷりだ！」
ローズヒップ「当たりナントカのクラッカーですわ！　聖グロ一の快速、とくと味わってみやがれですのよ～！」
ホシノ「なんの！　こっちもホームで負けるわけにはいかないよ～！」

ナカジマ「ホシノのやつ、珍しくヒートアップしてるなぁ」
スズキ「せっかく作った学園艦特設カートレース場だよ。ローズヒップさんが来てくれたおかげで本気のバトルができるんだから、そりゃ燃えるでしょ」
ツチヤ「いいなー、私もドリフトしたかったな～」
ナカジマ「ジャンケンなんだからしょうがないよ」
ツチヤ「そうですね。おーいホシノ先ぱーい、わたしの分までがんばって！」
スズキ「いけーホシノ！　後半の連続コーナーはまだ詰められるぞ！」
ナカジマ「ホシノもローズヒップさんも、熱くなりすぎてマシンを壊さなきゃいいんだけど……」
ダージリン「毅然として運命に耐えよ。そこには全ての真理がある」
ナカジマ「は？」
ダージリン「ヌワラエリアのいい紅茶が手に入りましたの。よろしければいかがかしら」
ナカジマ「……あ、はい」
ダージリン「フフフ……」
ナカジマ「えーと、ではいただきます（こく、こく）……な にこれ!?　めちゃくちゃおいしい!!」
スズキ「どうしたナカジマ？」
ツチヤ「急に大きな声出すから、びっくりした～」
ナカジマ「ちょっとスゴいよコレ！　この紅茶とんでもなくおいしいよ！」
スズキ・ツチヤ「は？」
ダージリン「お2人も、どうぞ」
スズキ「（こく、こく）……うまい!!　なんていうか、とんでもなくスッキリ感がある！　まるで12気筒エンジンの吹け上がりみたいだ！」
ツチヤ「（こく、こく）……おいしい！　こんな紅茶、いままで飲んだことないよ！　ダブルウィッシュボーンサスペンションみたいに、粘りとキレがある！」
ダージリン「フフフ。おかわりもあるし、お茶請けのサンドイッチも用意していますのよ。ここでティータイムなどいかがかしら」
ナカジマ・スズキ・ツチヤ「はーい！」

ホシノ「あ！　みんななんかおいしそうなの食べてる！」
ローズヒップ「マジでございますか!?　……でも車は急に止まれないでございますわ！」
ホシノ「たしかに、勝負は勝負、ラスト1周でケリをつけようか」
ローズヒップ「ガッテン承知!!　……でも、楽しいですわー。ホントはずーっとここでレースをしていたい気分ですのよ」
ホシノ「だったら、うちに転校すれば？　毎日車いじって、毎日レースできるよ」
ローズヒップ「え？」
ホシノ「おーい、ナカジマー！　ローズヒップさんがうちに転校したいって！」
ナカジマ「え？　そりゃ大歓迎だよ！」
スズキ「あんなにいい走りができるんだ、うちの新戦力として申し分ないね」
ツチヤ「ローズヒップさん！　うちで毎日ドリフト勝負しましょう！」
ローズヒップ「あの、あのあのあの、私はダージリン様みたいなお嬢様になりたいのですが……」
ホシノ「それじゃダージリンさんと2人でこっちに来ればいいんだよ！」
ローズヒップ「うーん……はっ！　ひらめきましたわ！　そういうことでしたら皆さんが聖グロに来ればよろしいのですわ！」
ホシノ・ナカジマ・スズキ・ツチヤ「は!?」
ダージリン「あら、それはいい考えね」
ホシノ・ナカジマ・スズキ・ツチヤ「ええーっ!?」
ローズヒップ「善は急げですわ！　さっそくふんじばって転校手続きを」
スズキ「ふんじばるって……ちょっとちょっと！」
ツチヤ「ヤバいよ、アレは本気の目だよ！」
ナカジマ「とりあえず逃げよう！　スズキ、ツチヤ、予備のカートに乗り込め！」
スズキ・ツチヤ「了解っ！」
ローズヒップ「逃がしませんのよ～～!!」

ダージリン「熱い紅茶を飲みながら熱いレースを堪能する。こういうのもたまには悪くありませんわね。フフフ……」

電撃G's magazine 2019年8月号掲載
原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE ちはたんがくえん

知波単学園

大日本帝国陸軍の九七式中戦車チハが中心戦力の高校。敵に勇ましく突撃する美学を持ち、その気合と根性は全国クラス。

西 絹代（にし きぬよ） CV 瀬戸麻沙美

情に厚い熱血隊長。裏表のない気持ちのいい性格ですが、人の話をよく聞かず早合点することも。知波単伝統の突撃命令をよく出しますが、最近有効性に疑問を感じている様子。

福田（ふくだ） CV 大空直美

九五式軽戦車車長。アヒルさんチームとの交流を経て、安易な突撃作戦を改めるように。

玉田（たまだ） CV 米澤 円

新チハ車長。知波単学園の精神を体現したような、退くことを知らない突撃少女です。

細見（ほそみ） CV 七瀬亜深

独特の髪型がおしゃれな旧チハ車長。昭和時代のムード歌謡をこよなく愛しています。

浜田（はまだ） CV 井上優佳

新チハ車長。茶道の裏千家の心得もある文武両道少女です。好きな作家は江戸川乱歩。

池田（いけだ） CV 多田このみ

旧チハ車長。なぎなたの名手です。ぬいぐるみ集めも趣味ですが、ボコには興味ナシ……。

寺本（てらもと） CV 葉山いくみ

旧チハの通信手。チームの広報担当でもあり、あだ名は“大本営”。好物は奈良漬です。

名倉（なぐら） CV 石上美帆

隠密偵察が得意な新チハ車長。リンリンとランランという2匹の紀州犬を飼っています。

久保田（くぼた） CV 大地 葉

旧チハ車長。知波単には珍しく数字に強い理論派です。将棋や囲碁、トランプが得意。

西原（にしはら） CV 井上優佳

泳ぎが得意な特二式車長。仲間たちからは“座敷わらし1号”と呼ばれることも。

EPISODE 18 ボコガールズ in Summer

みほ「ボコミュージアム、臨時休館で残念だったね」

愛里寿「行きたかったな……期間限定ボコティマウンテンズプール……」

みほ「施設のトラブルみたいだから、仕方ないよ。でもその代わりに、お姉ちゃんがビニールプールを持ってきてくれたから」

愛里寿「うん。みほさんのお姉さん、ありがとう（にこっ）」

まほ「ああ、喜んでもらえたならなによりだ」

みほ「よかったね愛里寿ちゃん。でもみんなで行きたかったな、ボコティマウンテンズプール」

まほ「ん？　そのボコ……なんとやらは普通のプールとなにか違うのか？」

愛里寿「全然違う！」

みほ「全然違うよ！」

まほ「そ、そうなのか」

愛里寿「ボコの水上ショーとか、絶対あるはず」

みほ「海だったらボコ、なにするんだろうね」

愛里寿「きっとサメにやられると思う」

みほ「サメかぁ、それだとたぶん、腰から下をガブッとかじられてやられちゃうかも！」

愛里寿「すごい！　それかっこいい！」

まほ「え？」

みほ「クラゲかもしれないよ」

愛里寿「うんうん！　ボコが一生懸命パンチを出すんだけど相手はクラゲだから全然効かなくて、逆に全身刺されちゃうんだね！」

みほ「いいねそれ！　すごくかわいい！」

まほ「は？」

みほ「ねえ！　お姉ちゃんはボコは海でなににやられると思う？」

まほ「あ、ああ。えーと、その、あれじゃないか……クジラとか？」

みほ「クジラ……」

愛里寿「クジラ……」

まほ「な、なにか間違っていただろうか」

みほ・愛里寿「すごい！」

まほ「!?」

愛里寿「クジラ……その発想はなかった」

まほ「？」

みほ「相手が強ければ強いほど燃える、それがボコなんだよね！」

愛里寿「うん！　それがボコだから!!」

まほ「？？？」

愛里寿「みほさんのお姉さんってすごい。ちゃんとボコのことわかってる」

みほ「でしょ。わたしの自慢のお姉ちゃんなの♪」

まほ「……」

愛里寿「ボコミュージアム、はやく再開しないかな」

みほ「お姉ちゃんも一緒に行こうね♪」

まほ「あ、ああ……」

電撃 G's magazine 2019年9月号掲載
原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE けいぞくこうこう

継続高校

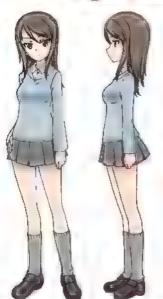
フィンランド戦車が主戦力のチーム。足りない資金力を選手個々の技量でカバーする等、大洗女子学園に通じる面も。

ミカ

CV 能登麻美子

チューリップハットをかぶった隊長。カンテレを鳴らしながら思わせぶりな発言をして、周囲を戸惑わせます。飄々としてとらえどころがありませんが実力は確かなようです。

アキ

CV 下地紫野

BT-42の乗員で、砲塔内のほぼすべての業務をこなしています。ミカのパートナー的存在ですが、彼女の話の意味がわからず困惑する場面も。

ミッコ

CV 石上美帆

BT-42の操縦手。強気な性格が表れた、攻撃的で才能あふれる操縦テクニックの持ち主。大学選抜チームとの戦いでその真価を発揮しました。

ご飴
こやき

EPISODE 19 お母様たち娘たち

愛里寿「あっ！」

しほ「あぶない！」

　がしっ。

愛里寿「……ありがとう」

しほ「気をつけて。慣れない履物で走ると転びやすいから……って、あなたは!?」

愛里寿「あれ!?　みほさんのお母さん!?」

千代「すみません､うちの子がご迷惑を……え!?　西住さん!?」

しほ「こんばんは。こんなところで会うなんて、奇遇ですね」

千代「ええ、ほんとに……」

愛里寿「あの……みほさんは、一緒じゃないんですか？」

しほ「私１人よ。お祭りが懐かしくて、ちょっと寄ってみたのだけど」

千代「そうだったんですね。なんにせよ、助かりました。ありがとうございます」

しほ「いえ、どういたしまして。あら……そのお面、まだ売っているのね」

愛里寿「ボコのこと？　みほさんのお母さんも、ボコが好きなの？」

しほ「いえ、そうではなくて。昔みほとまほと一緒にお祭りに来たとき、同じものを買ってあげたことがあったなと……いま、思い出したわ」

愛里寿「すごい……じゃあこのお面、みほさんとおそろいなんだ」

しほ「フフッ。ずいぶん前のことだから、まだ持ってるかどうかわからないけど」

愛里寿「きっと持ってると思う。だって、みほさんもボコが大好きだから！」

しほ「そうかも知れないわね。あの子、お面を見るなり露店の机につかまって、買うまでテコでも動かなかったし」

愛里寿「みほさんもそんなことするんだ……」

しほ「ええ。他にもこのお面のべっこうあめや人形焼きなんかもあったわね」

愛里寿「え、人形焼き!?　……お母様」

千代「あらあら、しかたないわね。先に行ってらっしゃい」

愛里寿「うん！　あ、みほさんのお母さん。助けてくれてありがとうございました（ぺこり）」

しほ「今度は転ばないように気をつけるのよ」

愛里寿「はい！」

　タタタタタ……

しほ「……いい子なのね」

千代「当然、私の娘ですもの♪……もしかして娘が２人とも家を出て寂しくなりました？」

しほ「……あの娘もあっという間よ」

千代「うっ」

電撃 G's magazine 2019 年 10 月号掲載
原画：伊藤岳史　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　原画：杉本功

CHARACTER FILE だいがくせんばつちーむ

大学選抜チーム

大洗女子学園との試合のため、愛里寿と選りすぐりの大学生選手で構成されたチーム。戦車の性能もケタ外れです。

島田愛里寿

CV 竹達彩奈

大学選抜チーム隊長。飛び級で大学生になった天才少女で、名門の島田流戦車道の跡取りでもあります。みほとはボコが好きという共通の趣味を通じて仲よくなりました。

メグミ

CV 藤村 歩

3人の中隊長のうち1人。年下の愛里寿のことを信頼しています。サンダース大学付属高校のOG。

アズミ

CV 飯田友子

中隊長の1人で大人びたお姉さん。BC自由学園のOGで、不仲な後輩たちを気にかけています。

ルミ

CV 中原麻衣

中隊長の1人で継続高校のOG。中隊長3人の連携攻撃"バミューダアタック"は絶大な威力！

EPISODE 20 ゆでだこアンチョビ風味

アンチョビ「いやー、まいった……完全にのぼせてしまった」

ダージリン「しばらく横になっていればよくなりますわ（パタパタ）」

アンチョビ「すまない、うちわで風まで送ってもらって」

ダージリン「どういたしまして」

アンチョビ「たまには足が伸ばせる大きなお風呂で疲れを癒やしたいと思って、この温泉に来たんだが……」

カルパッチョ「あまりに気持ちのいい露天風呂だったので、少しはしゃぎすぎてしまったんですよね」

アンチョビ「はしゃいでなんかない！　ちょっとテンションが上がりすぎただけだ！」

ダージリン「たしかに……広いお風呂というのはなかなか心揺さぶられるものがありますわね」

オレンジペコ「はい！　それに温泉に入るのは、やっぱり気持ちがいいですから」

ダージリン「そうね、うちの学園艦にも同じものを作ってみようかしら」

アンチョビ「おお！　いいアイデアだな！　作ってしまえば毎日何時間でも、温泉に入り放題だ!!」

ダージリン「The orange that is too hard squeezed yields a bitter juice.」

アンチョビ「すまん、英語はよくわからなくて……」

ダージリン「オレンジを強く搾りすぎると、苦いジュースができる」

オレンジペコ「『過ぎたるはなお及ばざるがごとし』ですね。気持ちのいい温泉も、入りすぎるとのぼせてしまいますから」

アンチョビ「面目ない……」

カルパッチョ「ドゥーチェ、冷たいミルクを持ってきました。これを飲めば、のぼせも収まりますよ」

アンチョビ「おお、助かる」

オレンジペコ「牛乳も結構ですが、こちらのアイスハーブティーはいかがですか？　湯あたりに効果のあるハーブがブレンドされていますよ」

アンチョビ「ふむ、いかにも効きそうだ」

ペパロニ「ドゥーチェ、ここの温泉水身体にいいらしいっすよ！　ごくごくごく……うん、うまい！　よくわからんけどなんか健康になった気がする！」

アンチョビ「いや、そんなすぐ効くわけないだろ」

ダージリン「水分補給は大切ですわよ」

アンチョビ「そうだな、じゃまずはミルクを」

　ごくごく。

オレンジペコ「アイスハーブティーもどうぞ」

アンチョビ「すまないな」

　ごくごく。

アンチョビ「うん、頭がスッキリしてきた」

カルパッチョ「治ったんですね、よかった」

ペパロニ「んじゃ、こっちの温泉水も。バケツで!!」

アンチョビ「いいっ!?　いや、しかしせっかくだから」

　ごくごく……ごく……ご……

アンチョビ「うっ!?」

ダージリン「どうかなさいました？」

アンチョビ「いや、その、おなかの具合が……すまん、ちょっと待ってくれ！」

　タタタタタ……

ペパロニ「ドゥーチェ、トイレのほうに走ってったっすね、なんでだろ？」

オレンジペコ「一度にあれだけ飲めばムリもないかと……」

ダージリン「なにごとにおいても『過ぎたるはなお及ばざるがごとし』ですわね」

電撃G's magazine 2019年11月号掲載
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE

その他の出場校

無限軌道杯には全国から個性的な高校が多数参戦しています。試合結果に恵まれずとも、大きな存在感を示した彼女たちをチェックしましょう。

青師団高校

スペインの戦車を使用。みんなスタイル抜群で、胸元の開いたシャツを着ています。

隊長
エル
CV 中村 桜

操縦手
ヴィリディアナ
CV 葉山いくみ

通信手
トリスターナ

コアラの森学園
（こあらのもりがくえん）

隊長はなんと本物のコアラ。隊長の意思を副隊長の蕨が汲み取り、チームに伝えます。

副隊長
蕨（わらび）
CV 藤村 歩

砲手
鴨乃橋（かものはし）
CV 瀬戸麻沙美

マジノ女学院

[illegible]

隊長
エクレール
CV 東山奈央

あんこう
焼そば
500円

EPISODE 21 大洗名物・隊長鍋！

愛里寿「これが、大洗のあんこう祭……」
みほ「みなさん、遠くから来てくださってありがとうございます」
カチューシャ「礼には及ばないわ！」
アンチョビ「お祭りかー、こういうのはやっぱりいいな！」
西「こちらこそ、お招きいただき感謝します」
ケイ「にぎやかでいい雰囲気ね～」
ダージリン「このソフトクリーム、なかなかのものですわね」
みほ「気に入っていただけてうれしいんですけど、まずはやっぱり、あんこう鍋をどうぞ♪」
まほ「これがあんこう鍋か……よく味が染みてそうだな」
ケイ「ここ、なにかしら？　なんかもにょもにょっとしてるけど」
みほ「それはあんこうの胃です」
ケイ「ストマック？　それって食べられるの!?」
みほ「あんこうは全部食べられる、捨てるところがないって言われてるんです」
まほ「ムダがないんだな」
アンチョビ「はーらカチューシャ、あーんしろ、あーん」
カチューシャ「ちょっと！　届かないじゃない!!　ちゃんとカチューシャに食べさせなさい！」
西「ところで西住隊長、皆にお土産を買って帰りたいのですが、なにかオススメはありますか？」
みほ「うーん……ちりめん山椒、かな？　ごはんにふりかけてもいいですし、おにぎりの具にしてもおいしいんですよ」
西「ごはんのお供!!　それは皆喜びそうです。それでは西絹代、ちりめん山椒のお店に吶喊(とっかん)します！」
みほ「あ……」
ダージリン「みほさん、ソフトクリームの口直しに紅茶をいただけるかしら」
みほ「えーと……あ！　商店街のほうに喫茶店がありますから、そこなら飲めるんじゃないでしょうか」
ダージリン「ありがとう。それでは少し失礼致しますわ」
みほ「え？」
アンチョビ「なぁなぁ、うちの連中にみやげ話をしてやりたいんだが、いい写真が撮れそうなところはないか？」
みほ「磯崎神社が高台にあるので、いい景色が撮れると思うんですけど……」
アンチョビ「グラッチェ！　それじゃ、また後でな！」
みほ「ちょっと待ってくだ……」
カチューシャ「ミホーシャ、カチューシャお腹一杯で眠くなっちゃった」
みほ「ええー!?　泊まる所は用意してますけど……ちょっと待っててもらえませんか？」
カチューシャ「いい、1人で行けるから。地図ちょうだい」
みほ「あ、はい……」
まほ「みほ、どこか体を動かせるところはないか？」
みほ「お姉ちゃん!?　なんで!?」
まほ「あんこう鍋で、つい箸が進みすぎた……その分のカロリーを消費しておきたくてな」
ケイ「あ、それ私も付き合う！」
みほ「総合運動公園にトレーニングルームがあるけど……」
まほ「助かる。それじゃ、また後で」
ケイ「ヘイ、マホ！　私と1on 1とかやってみない？」
みほ「みんな行っちゃった……」
愛里寿「みほさん」
みほ「愛里寿ちゃん！」
愛里寿「このあんこう鍋、すごくおいしい」
みほ「よかった……でもあんこう鍋、みんなで食べたかったな」
愛里寿「みほさんの分を取っておいたの。一緒に食べよう」
みほ「ありがとう！　……そういえば、ミカさんとマリーさんは？」
愛里寿「あそこ」

マリー「高いところって、気分がいいわね」
ミカ「より高いところから見たら、ここは低い場所なのかもしれないよ（ポロロン♪）」
マリー「いい天気だし、歌を歌いたい気分だわ。伴奏よろしくね」
ミカ「風の気分を変えるのは難しいんじゃないかな（ポロロン♪）」
マリー「それじゃ。La chanson de l'oignon（たまねぎの歌）音楽スタート！」
ミカ「（ポロロン♪　ポロロン♪　ポロロロロン♪～Sakkijarven polkka/サッキヤルヴェン・ポルカ）」
マリー「わたしが弾いてほしい曲と全然違うじゃない。でも、まあいいわ。♪J'a'me l'oignon frît à l'hu'le,J'aime l'oignon quand il est bon♪」

電撃G's magazine 2019年12月号掲載
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：和田いづみ（スタジオアカンサス）　監修：杉本功

CHARACTER FILE

戦車道関係者

戦車道は選手以外にも多方面の人々に支えられています。運営サイド、指導者、選手を応援する家族等、彼らの力あってこその競技でもあるのです。

西住しほ CV 冬馬由美

みほ、まほの母で、西住流戦車道の家元。娘たちに厳しく戦車道を教え込みました。西住流から逃げ出したみほに冷たく接していましたが、その態度は徐々に軟化している様子。

島田千代 CV ゆきのさつき

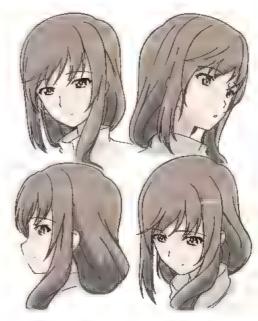
大学戦車道連盟の理事長。島田流戦車道の家元でもあり、穏やかな口調の裏に西住流への強いライバル心を燃やしています。娘の愛里寿に対しては甘い一面を見せることも。

五十鈴百合 CV 倉田雅世

華道の名門・五十鈴流の家元。戦車道に打ち込む娘の華を勘当、後に和解しました。

冷泉久子 CV 愛河里花子

麻子の祖母。気丈で口が悪いところもありますが、孫への深い愛情を秘めています。

優花里の両親

優花里の家は理髪店。娘を溺愛するお父さんとしっかり者のお母さんが、好奇心旺盛な優花里を伸び伸びと育てました。

秋山淳五郎 CV 川原慶久

秋山好子 CV 仙台エリ

EXTRA EPISODE 王子様の条件

沙織「すご～い！　見て見てみぽりん。わたし、本物のお姫様みたい♪」

みほ「こんなきれいなドレス、わたし初めて！」

マリー「気に入ってもらえたかしら」

みほ「はい。ありがとうございます、マリーさん」

沙織「こんなステキな服を着てたら、きっとカッコいい王子様がたくさんやってきてプロポーズされちゃうよ！　ど～しよ～」

マリー「カッコいい王子様？　どんな人なのかしら」

沙織「そりゃもう、王子様なんだから、イケてて、カッコよくて頭もいい、きっとステキな人ですよ！」

みほ「(汗) あはは・・」

マリー「あなたは？」

みほ「え？　わたしですか!?」

マリー「あなたの王子様は、どういう人かしら？」

みほ「王子様ですか？　うーん……優しい人だったらいい、かな？」

マリー「なるほどね」

沙織「うんうん、みぽりんらしくていいと思う！」

みほ「そうかな……（赤面）」

沙織「マリーさんは、どんな王子様がいいんですか？」

マリー「わたしは、わたしにふさわしい人がいいわね」

沙織「おおー、なんか深い感じですね」

みほ「相性がいいって大事かもね」

マリー「食べたい時にいつでもケーキを用意してくれる優しい人とかいいわね」

沙織「みぽりんと同じで優しい人かー。やっぱり男の人って優しいのが一番なのかな？」

みほ「そうかも」

マリー「優しくて、わたしの言うことをなんでも聞いてくれて」

みほ「なん、でも？」

沙織「でもでも、わかるよ！　やっぱり王子様ってなんでもしてくれそうだもん！」

マリー「広いお城に召し使いは1万人くらいでいいかしら。もちろんたくましさも必要ね。熊を一撃で倒す程度の強さはほしいわね」

みほ「えええ!?」

沙織「そんな人いるんですか!?」

マリー「あら、世界は広いのよ。1人くらいはいるはずよ♪」

沙織「いたとしても、競争率すごそう……」

マリー「わたしを迎えにくるなら、このくらいのたしなみは持ってもらわないと困っちゃうわ」

沙織「なんだかわからないけどすごい自信……」

マリー「理想を高く持たないと王子様なんてやって来ないんじゃないかしら？」

沙織「!!　これはもしかして、恋愛の極意かも……マリーさん、もっといろいろ教えてください！」

マリー「……ケーキが食べたくなっちゃったわ」

沙織「わかりました！　みぽりん、2人でケーキをいっぱい買ってこよう!!」

みほ「え――、この格好で行くの!?」

描き下ろし
原画：王國年　仕上：原田幸子　特効：古市裕一
美術：アートスタジオ・ザオ　監修：杉本功

戦車道関係者②

蝶野亜美（ちょうのあみ）

CV 椎名へきる

大洗女子学園戦車道チームの指導教官。陸上自衛隊から派遣された一等陸尉で、豪快かつアバウトな性格です。戦車道の大会では審判長としても活躍します。

篠川香音（ささがわかのん）

日本戦車道連盟が派遣した公式審判員の1人。メガネが目印の彼女が主審を任されています。

高島レミ（たかしまレミ）

公式審判員のうちの1人。ポニーテールが特徴で、篠川主審を補助する形で副審を担当しています。

稲富ひびき（いなとみひびき）

審判トリオの一角を担う副審。3人とも胸には審判員の証"JUDGE"のプレートをぶら下げています。

理事長（りじちょう）

CV 飛田展男

日本戦車道連盟の理事長。人情派ですが気弱な面があり、文科省に強く出られません。

役人（やくにん）

CV 景浦大輔

文科省の官僚。なにかにつけて大洗女子学園を廃校に追い込もうとする宿敵です。

河嶋家（かわしまけ）

河嶋桃の両親は小さな文具店を営んでいます。子だくさんで経済状況は厳しく、おやつはいつもパンの耳を揚げたものです。

激闘を振り返ります!

ガールズ&パンツァー 最終章

GIRLS und PANZER das FINALE

第1話 プレイバック

桃のため「無限軌道杯」へ!

卒業間近の河嶋桃が成績不振で進学が怪しく……。戦車道の実績があればAO入試に受かると考えた後輩たちは、桃を隊長に据え戦車道の大会「無限軌道杯」への出場を決めるのでした。

新戦車のカギは船底にあり!

大会に向けて戦力不足を補うため、学園艦の底部に新戦車を探しに行く戦車道チーム一行。そこではのちにサメさんチームとして仲間になる、船舶科の荒くれ者たちと対決することに。

ワナに落ちて大苦戦!

1回戦の相手はBC自由学園。事前に大洗が仕入れた情報では、チームワークに難がある学校ということでした。ところがそれは偽装で、試合ではBCのみごとな連携攻撃を受けて防戦一方に。

第1話の戦車たち

Mk.IV戦車

(大洗女子学園 サメさんチーム搭乗車)

最古の戦車といわれるMk.Ⅰ戦車の型を継ぐイギリス戦車。サメさんチームの趣味で旗を掲げています。

ルノーFT(FT-17)

(BC自由学園 マリー搭乗車)

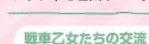
自動車で有名なルノー社が開発。軽量で機動力に優れ、マリーのフラッグ車として戦場を駆け回りました。

『ガルパン』アニメの最新シリーズにして最後の戦いと目されている『最終章』。こちらはTVアニメや劇場版のストーリーを受け継いだ全６話のシリーズで、西住みほと大洗女子学園、そして個性豊かなライバルチームたちの新たな活躍を楽しめます。河嶋桃の進学騒動を発端に巻き起こった無限軌道杯の激戦は、作品を締めくくるにふさわしいスケールになっています。映画館のスクリーンでもBlu-ray＆DVDでも展開中の『最終章』シリーズを、ここで第２話まで振り返りましょう。

第2話 プレイバック

機転で活路が開く!

まさかの初戦敗退の危機が迫る大洗女子学園。しかし土壇場での抵抗とBC自由学園内の同士討ちを誘う作戦により、流れを引き戻します。最後は敵のフラッグ車を包囲し……。

戦車乙女たちの交流

なんとか初戦を突破した大洗女子学園は、２回戦に向けて英気を養います。ボコを通じて友情を育むみほと愛里寿。知波単学園の福田は大洗のバレー部員たちに戦いの教えを乞います。

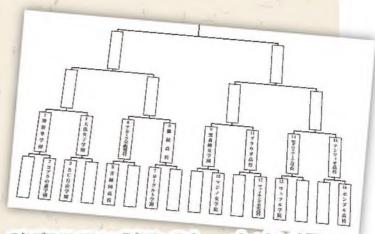
知波単の成長に驚愕!

大洗女子学園と知波単学園の２回戦が開幕。かつて後先考えない突撃ばかりしていた知波単も、西絹代や福田など各メンバーの成長により手ごわい相手に。はたして死闘の結末は……。

S35
(BC自由学園 安藤搭乗車)

ソミュア社開発の騎兵戦車で、火力と機動力のバランスに優れます。安藤たち外部生組が使いました。

ARL44
(BC自由学園 押田搭乗車)

ドイツ占領下のフランスで密かに開発された高火力の重戦車。押田たちエスカレーター組が搭乗しました。

強豪そろい踏みのトーナメント
今後も波乱で満ちている!?

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
戦車道のよこみち2
ガールズ&パンツァー 戦車道のよこみち2
アスキー・メディアワークス

ガールズ＆パンツァー 戦車道のよこみち２

編集　電撃G'sマガジン編集部

2020年３月30日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『ガールズ＆パンツァー 戦車道のよこみち２』
2020年３月30日　初版発行

発行者　青柳昌行
発行　株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ
https://www.kadokawa.co.jp/

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

構成・制作　中田彩子（電撃G'sマガジン編集部）
小柴暁彦
デザイナー　芝智之（株式会社スタジオダンク）
伊地知明子
棟保雅子
長谷川聡
協力　株式会社アクタス
株式会社バンダイナムコアーツ
カバーイラスト　原画：杉本功
仕上：原田幸子
特効：古市裕一
カバーデザイン　芝智之（株式会社スタジオダンク）